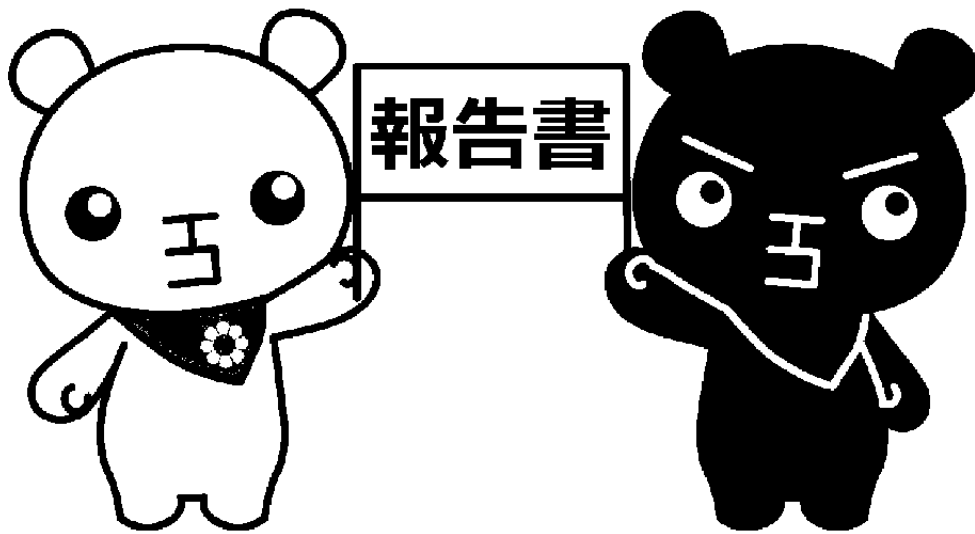


令和3年度 全国学力・学習状況調査



北九州 州有環境マスコットキャラクター
ていたん&ブラックていたん
こくいてん&ブッコくいてん 北九州市

北九州市教育委員会

はじめに

令和3年度全国学力・学習状況調査は、昨年度の調査中止に伴い、2年ぶりの調査となりました。

教育委員会では、これまで調査結果を基に北九州市の児童生徒の学習状況及び生活実態を分析し、課題把握と改善に向けて努めてまいりました。本年度の本市の結果を、全国の結果と比較してみると、学力調査では、いずれの学年・教科とも平均正答率は全国平均を下回っている状況です。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在もなお授業実施上における制限や学校生活において学びの在り方に工夫が求められる中、今回の調査では、一部の教科や領域等に改善が見られました。また、本市の課題であった「記述式」で解答する問題の正答率においても全国平均に対する割合が実施教科すべてで向上しました。さらに、児童生徒質問紙においても、ICT機器の活用状況や国語、算数・数学を学ぶ必要感等の質問で、肯定的な回答が全国平均を上回る項目が見られ、学校がポストコロナを見据え、粘り強く取り組んだ成果が表れています。

今回の報告書では「2 各教科の分析」において、「調査問題を活用した授業改善のための指導資料」を掲載しています。ここは、「全国的に課題の見られた問題を活用した指導例」や「基礎的・基本的な内容の定着を図る指導例及び知識や技能を活用した指導例」で構成しており、学習指導上、特に重要視される内容や身に付けるべき力等を定着させる指導方法を具体的に記載しています。特に「基礎的・基本的な内容の定着に向けた指導例」では、主に「知識及び技能」の習得を目指した指導方法を、「知識や技能を活用した指導例」では主に「思考力、判断力、表現力等」の育成を目指した指導方法を記載しており、段階的に指導できるようにしています。各学校の児童生徒の実態に応じて指導の際の参考資料として活用していただきたいと考えています。

なお、この調査において問われている学力は、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」と、それらを実生活の様々な場面で活用する能力であり、これらは子どもたちがこれからの社会を生きていく上で大切な力です。それとともに、子どもの主体性や協調性、やり抜く力や自己肯定感等、いわゆる「学びに向かう力」も大切であり、その視点からも分析を進めていく必要があると考えます。したがって、今回の調査結果を基に「3 学習状況調査結果・分析」において、正答率で測る学力と「学びに向かう力」との相関関係を分析しており、今後は、その2つの方を両輪として育成する取組を進めていきたいと考えています。

令和3年10月

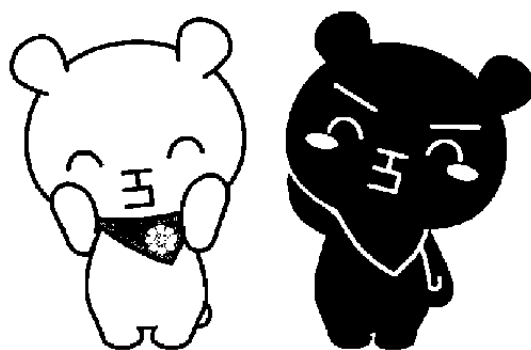
北九州市教育委員会

目 次

令和3年度 全国学力・学習状況調査 報告書

1 学力状況調査結果	p1 ~p9
(1) 令和3年度全国学力・学習状況調査結果について(概況).....	2
(2) 調査結果の経年推移.....	3
(3) 正答数分布グラフの経年比較.....	6
2 各教科の分析	p11~p29
(1) 小学校国語.....	12
(2) 小学校算数.....	16
(3) 中学校国語.....	20
(4) 中学校数学.....	24
(5) 今後の取組について.....	28
3 学習状況調査結果・分析	p31~p61
(1) 学習状況調査結果の経年推移の概況.....	32
(2) 児童生徒質問紙の回答結果の経年推移.....	33
(3) 今年度、新たに加わった質問事項の結果の概況.....	50
(4) 質問紙の「質問事項」と各教科の「平均正答率」との関係.....	52
(5) 児童生徒質問紙の結果から見る各教科の正答率との相関についての考察.....	60

1 学力状況調査結果



令和3年5月に市立の全小・中学校において全国学力・学習状況調査を実施した。調査の概況は以下のとおりである。

1 実施学年・調査内容

- ◇ 実施学年 市立の全小学校・関係特別支援学校 第6学年(131校)
市立の全中学校・関係特別支援学校 第3学年(63校)
- ◇ 調査内容 ① 教科に関する調査 小学校 … 国語・算数 中学校 … 国語・数学
② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 調査集計者数 小学校児童数 7,407人 中学校生徒数 6,764人

3 調査日 令和3年5月27日(木)

主な結果

令和3年度	小学校国語		小学校算数		中学校国語		中学校数学	
	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率

※ 結果公表にあたっては、文部科学省の方針に沿って細かい桁における微小な差異は学力面で実質的な違いを示すものではないという考えから、正答率は平成28年度より整数値で公表するようにした。

【結果1】 全国平均を上回る学校数が中学校で増加している。

中学校 平成31年度 13校 → 令和3年度 20校

※ 国語、数学の平均正答率の合計による比較

【結果2】 小学校算数、中学校国語、数学の正答率は、全国平均に近づいている。

小学校 算数 平成31年度 96% → 令和3年度 98%
 中学校 国語 平成31年度 95% → 令和3年度 97%
 数学 平成31年度 93% → 令和3年度 96%

※ 全国平均正答率を100%として比較

【結果3】 小学校国語において、「書くこと」の領域で、全国平均を上回っている。

小学校 国語 「書くこと」 平成31年度 96% → 令和3年度 106%

※ 全国平均正答率を100%として比較

【結果4】 本市で課題となっていた記述式の問題の正答率において、全国平均に対する割合の向上がみられている。

小学校 国語 平成31年度 100% → 令和3年度 101%
 算数 平成31年度 96% → 令和3年度 97%
 中学校 国語 平成31年度 97% → 令和3年度 100%
 数学 平成31年度 90% → 令和3年度 94%

※ 全国平均正答率を100%として比較

【結果5】 小学校国語の平均正答率は、平成31年度に全国平均を上回っていたが、今年度は下回っている。

平成31年度 102% → 令和3年度 97%

※ 全国平均正答率を100%として比較

調査結果の経年推移

平成22・24年度は、全国調査において、抽出調査及び希望調査利用方式で実施された。本市では全小・中学校で実施。

■ 各教科における本市と全国の平均正答率及び本市の全国平均正答率に対する割合(平成22年度～令和3年度)

※H23, R2年度は未実施

小学校								中学校								
		国語A	国語B	算数A	算数B	理科	合計			国語A	国語B	数学A	数学B	理科	英語	合計
H22 年度	本市	82	74	71	47		274	H22 年度	本市	75	66	61	41			243
	全国	83	78	74	49		285		全国	75	65	65	43			248
	対全国比	98%	95%	96%	96%		96%		対全国比	99%	102%	94%	94%			98%
H24 年度	本市	79	52	70	56	60	317	H24 年度	本市	74	61	59	44	49		287
	全国	82	56	73	59	61	331		全国	75	63	62	49	51		300
	対全国比	97%	94%	96%	95%	98%	96%		対全国比	98%	97%	94%	89%	95%		96%
H25 年度	本市	60	46	75	57		238	H25 年度	本市	75	65	60	38			238
	全国	63	49	77	58		248		全国	76	67	64	42			249
	対全国比	96%	94%	97%	97%		96%		対全国比	98%	96%	95%	92%			96%
H26 年度	本市	69	53	76	55		253	H26 年度	本市	77	48	62	54			242
	全国	73	56	78	58		265		全国	79	51	67	60			258
	対全国比	95%	95%	98%	95%		96%		対全国比	97%	93%	93%	91%			94%
H27 年度	本市	67	62	73	44	57	303	H27 年度	本市	74	63	62	38	50		287
	全国	70	65	75	45	61	316		全国	76	66	64	42	53		301
	対全国比	96%	95%	98%	97%	95%	96%		対全国比	97%	96%	96%	91%	94%		95%
H28 年度	本市	70	56	76	45		246	H28 年度	本市	74	64	59	41			237
	全国	73	58	78	47		256		全国	76	67	62	44			248
	対全国比	96%	96%	98%	95%		96%		対全国比	97%	96%	95%	93%			96%
H29 年度	本市	74	57	77	44		252	H29 年度	本市	77	70	62	45			254
	全国	75	58	79	46		257		全国	77	72	65	48			262
	対全国比	98%	99%	98%	97%		98%		対全国比	99%	98%	95%	94%			97%
H30 年度	本市	71	54	61	50	60	296	H30 年度	本市	75	60	63	44	64		306
	全国	71	55	64	52	60	301		全国	76	61	66	47	66		316
	対全国比	101%	99%	96%	96%	99%	98%		対全国比	99%	99%	95%	93%	97%		97%
H31 年度	本市	65		64			129	H31 年度	本市	69		56			51	176
	全国	64		67			131		全国	73		60			56	189
	対全国比	102%		96%			98%		対全国比	95%		93%			91%	93%

平成31年度より従来のA問題(知識・技能等)とB問題(活用等)という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題としている。

※ 正答率と対全国比は詳細な数値で計算をしているが、整数値で表記している。

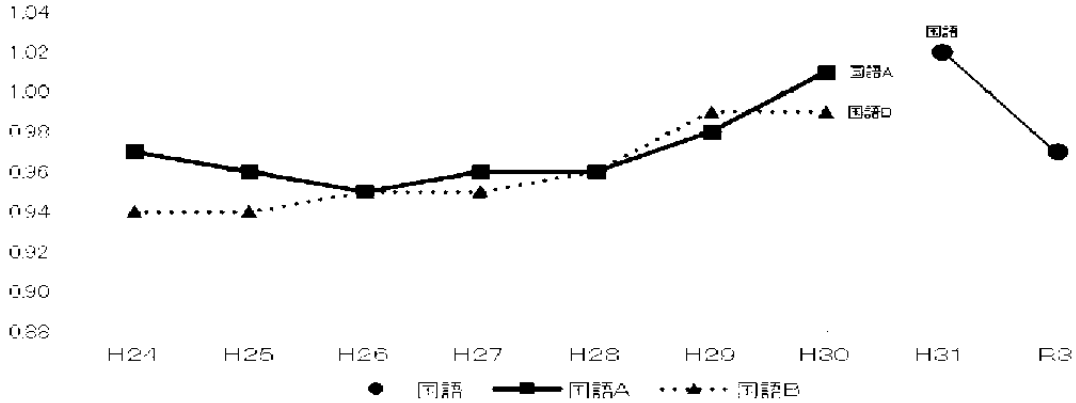
調査結果の経年推移

平成24年度は、全国調査においては、抽出調査及び希望利用方式で実施された。本市では全小・中学校で実施。

■ 全国平均正答率に対する割合（平成24年度～令和3年度）

小学校国語

全国平均正答率に対する割合の推移【小学校国語】



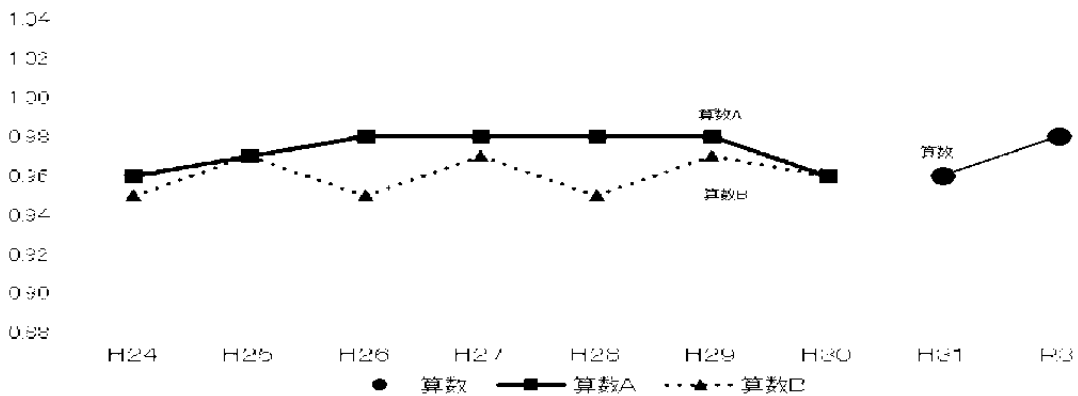
平成31年度正答数（全国比）
9.1 / 14問（102%）



令和3年度正答数（全国比）
8.8 / 14問（97%）

小学校算数

全国平均正答率に対する割合の推移【小学校算数】



平成31年度正答数（全国比）
9.0 / 14問（96%）

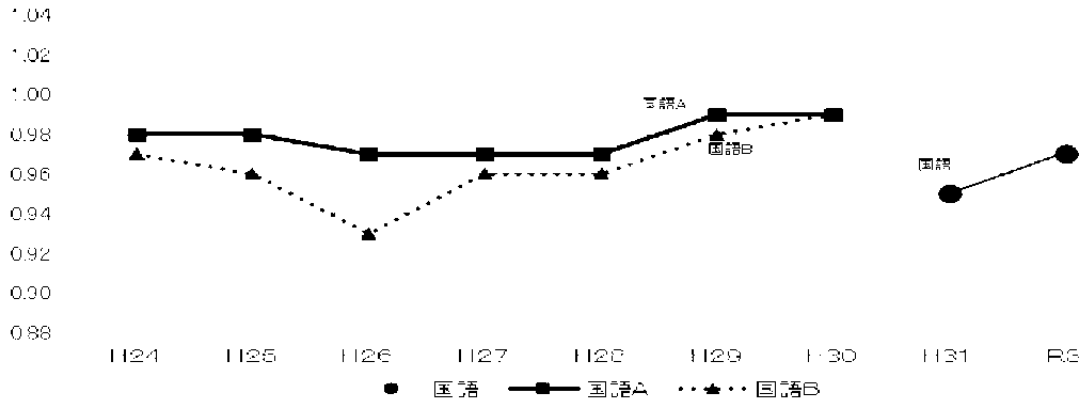


令和3年度正答数（全国比）
11.0 / 16問（98%）

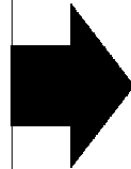
平成24年度は、全国調査においては、抽出調査及び希望利用方式で実施された。本市では全小・中学校で実施。

中学校国語

全国平均正答率に対する割合の推移【中学校国語】



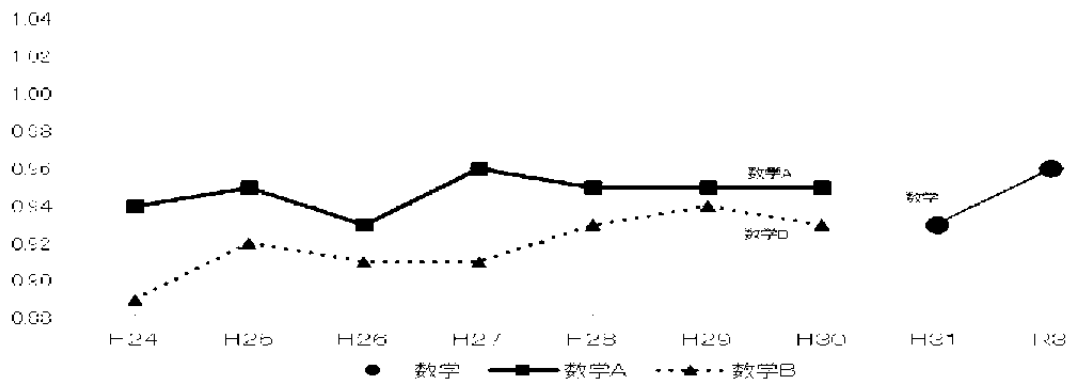
平成31年度正答数(全国比)
6.9 / 10問 (95%)



令和3年度正答数(全国比)
8.8 / 14問 (97%)

中学校数学

全国平均正答率に対する割合の推移【中学校数学】



平成31年度正答数(全国比)
8.9 / 16問 (93%)



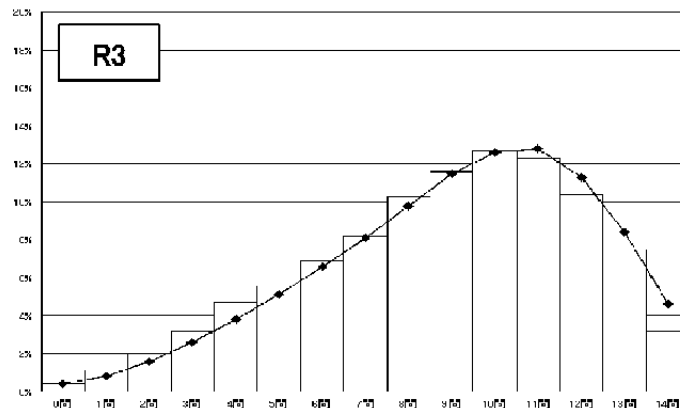
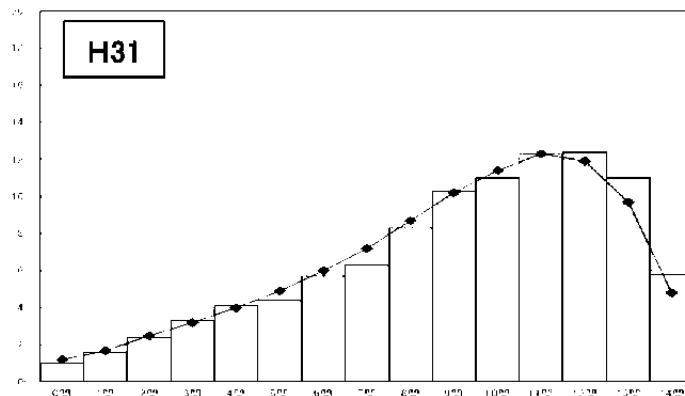
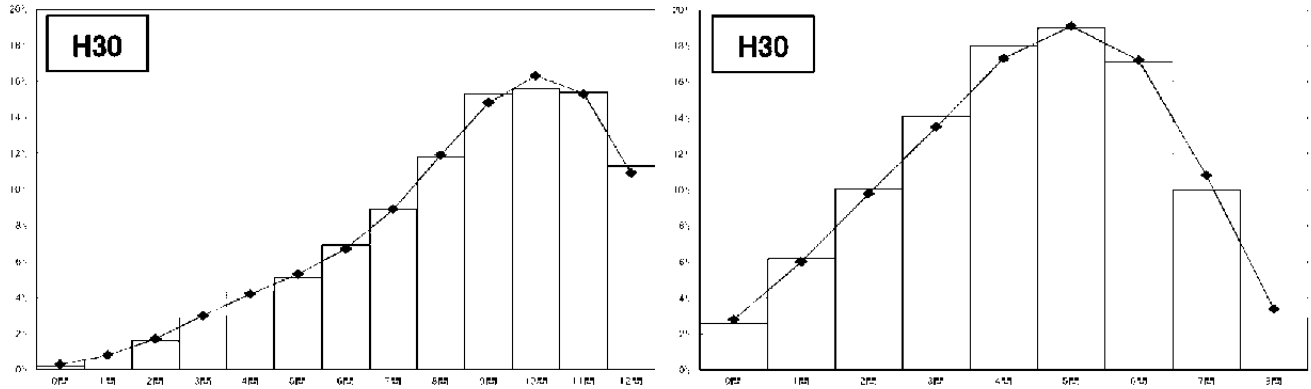
令和3年度正答数(全国比)
8.8 / 16問 (96%)

正答数分布グラフの経年比較 ①小学校国語

北九州市立小学校
 全国（公立）

小国A

小国B

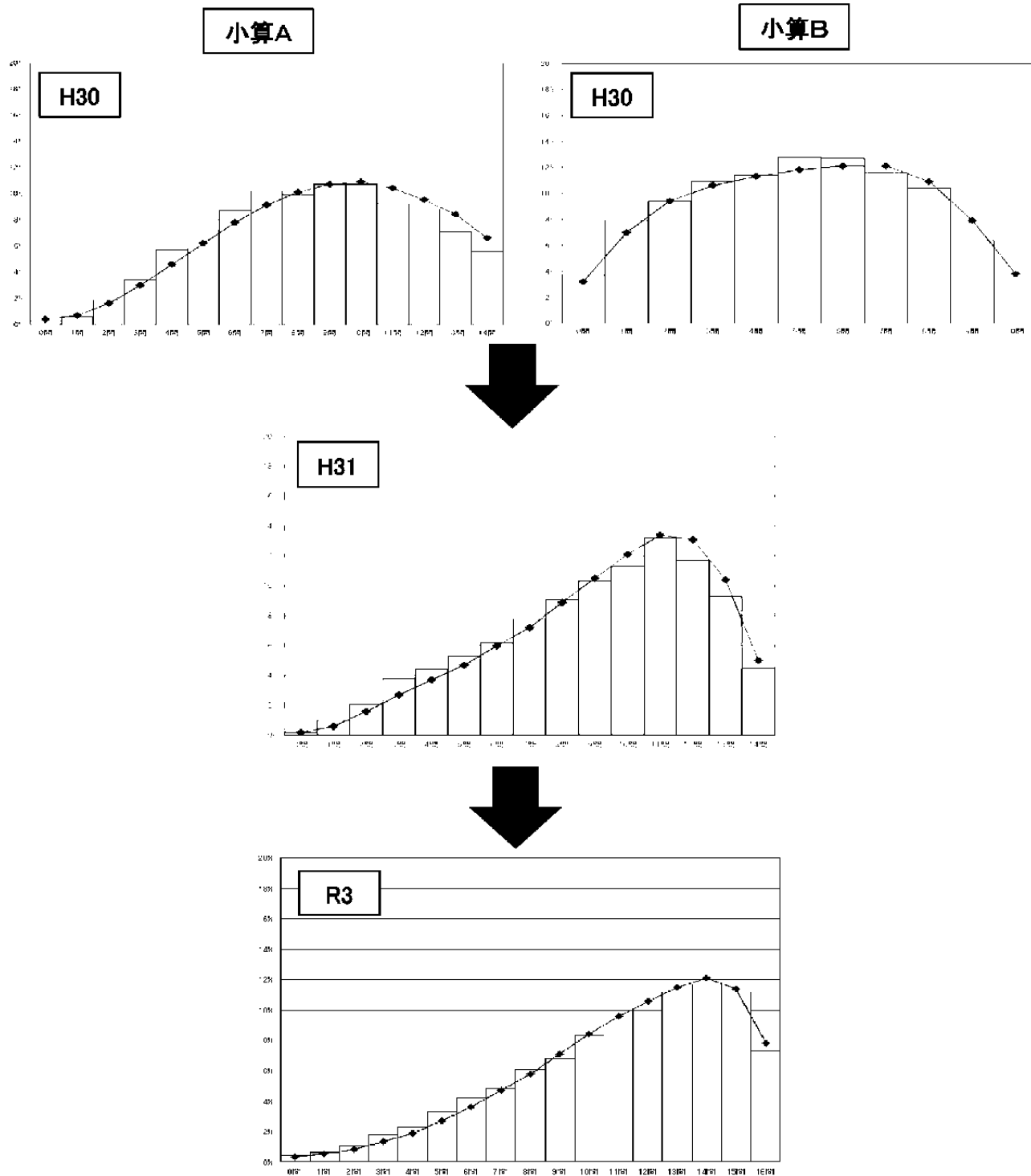


小学校国語では、高位層が中位層に移り、分布は全国平均より左側に移っている。

- 正答率 80%以上（12～14問）の割合は、21.1%である。〈H31（12～14問） 29.2%〉
- 正答率 40%以下（0～5問）の割合は、17.0%である。〈H31（0～5問） 16.8%〉

②小学校算数

□ 北九州市立小学校
● 全国（公立）



小学校算数では、低・中位層が中・高位層に移り、分布は全国平均に近付いている。

- 正答率 80%以上（13～16問）の割合は、41.4%である。〈H31（12～14問） 25.5%〉
- 正答率 40%以下（0～6問）の割合は、13.6%である。〈H31（0～5問） 16.8%〉

③中学校国語

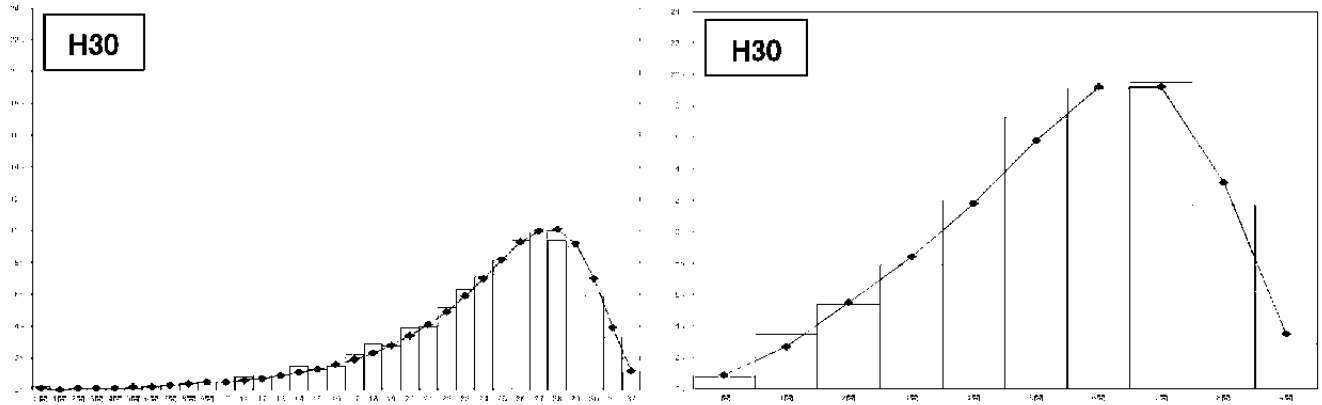
北九州市立中学校
 全国（公立）

中国A

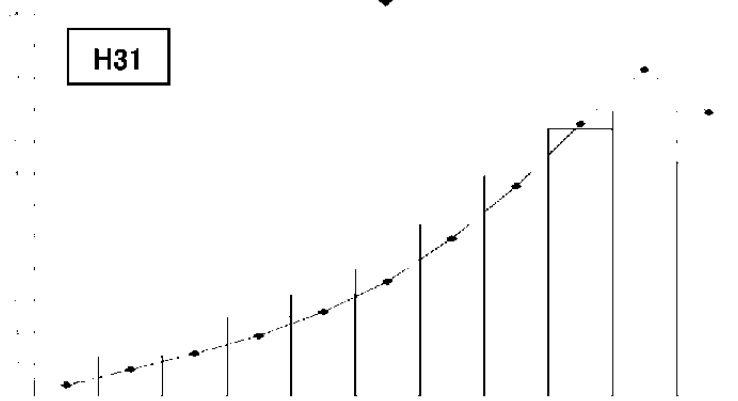
中国B

H30

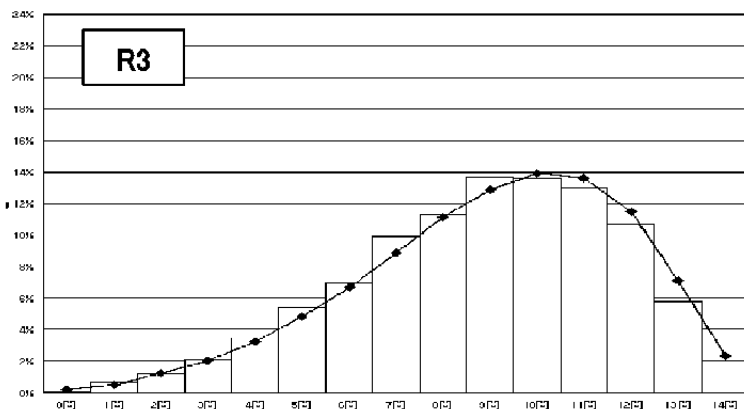
H30



H31



R3



中学校国語では、低位層と高位層が中位層に移り、分布は全国平均に近付いている。

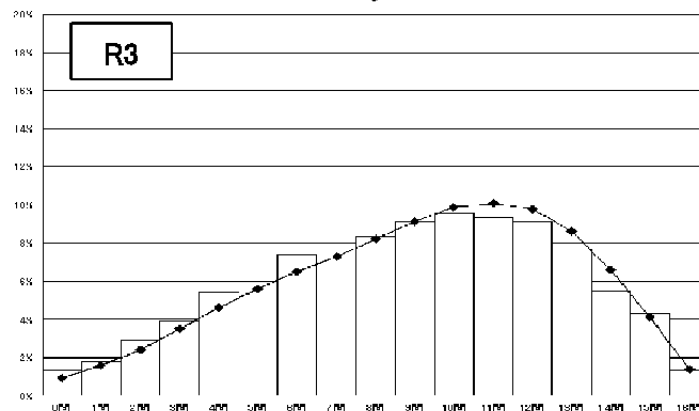
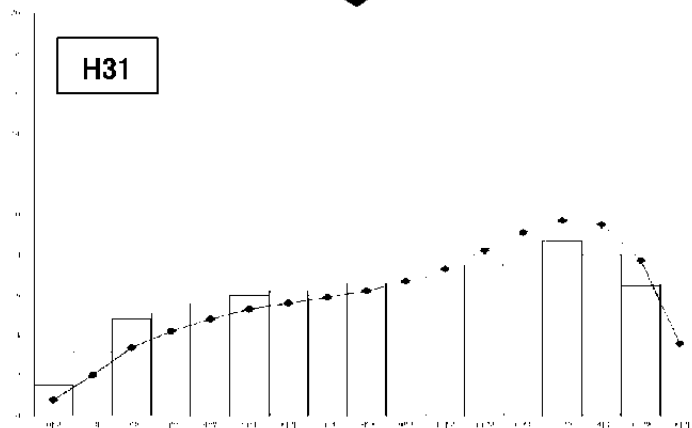
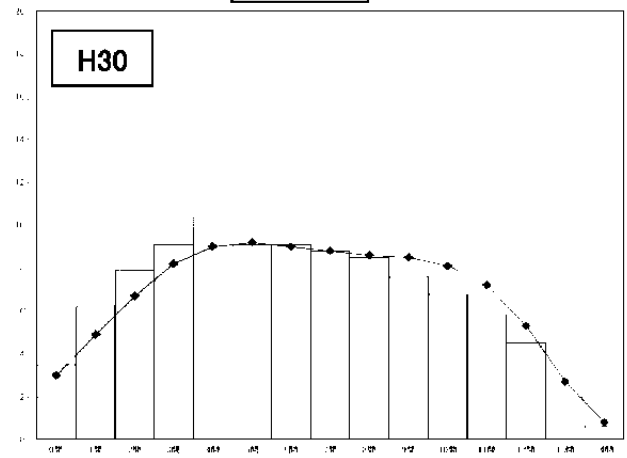
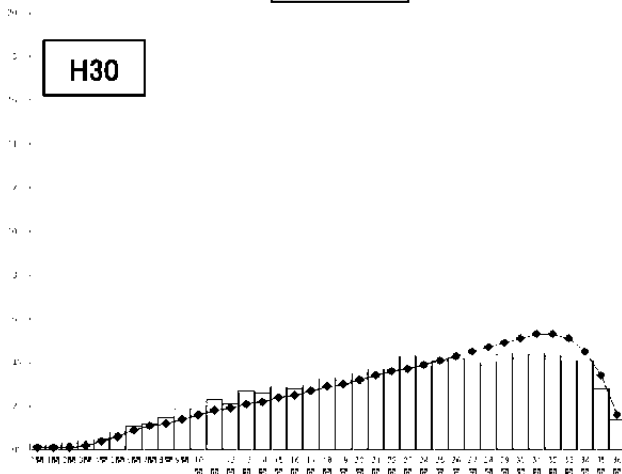
- 正答率 80%以上（12～14問）の割合は、18.3%である。〈H31（8～10問） 49.4%〉
- 正答率 40%以下（0～5問）の割合は、13.0%である。〈H31（0～4問） 18.0%〉

④中学校数学

北九州市立中学校
 全国（公立）

中数A

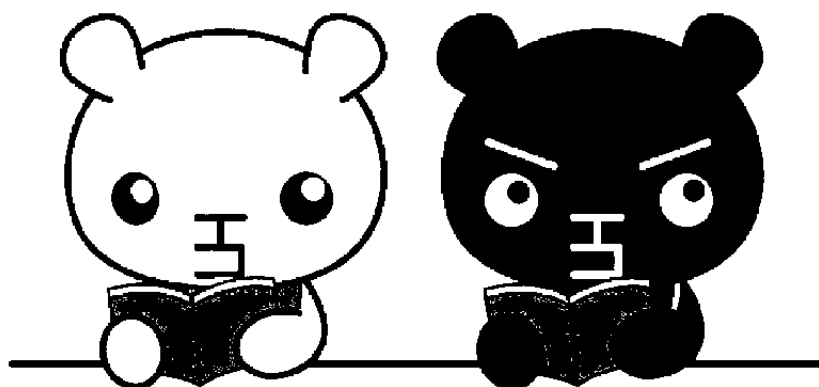
中数B



中学校数学では、低位層と高位層が中位層に移り、分布は全国平均に近付いている。

- 正答率80%以上(13~16問)の割合は、18.8%である。〈H31(13~16問) 26.2%〉
- 正答率40%以下(0~6問)の割合は、28.5%である。〈H31(0~6問) 32.4%〉

2 各教科の分析



調査結果

	平均正答数	平均正答率	全国比
R3全国	9.1/14	64.7%	100%

問題別集計結果

設問	正答率(%)	誤答率(%)	無解答率(%)
1一	76.2	23.8	0.2
1二	72.6	27.4	0.3
1三	78.9	21.1	0.3
2一	75.0	25.0	0.3
2二	85.0	15.0	0.3
2三	32.3	67.7	3.8
2四	28.9	71.1	4.5
3一	67.9	32.1	1.5
3二	60.3	39.7	7.7
3三(1)ア	75.2	24.8	7.6
3三(1)イ	46.8	53.2	12.7
3三(1)エ	75.0	25.0	5.4
3三(2)イ	64.1	35.9	2.1
3三(2)オ	38.7	61.3	2.3

- 2二の問題の正答率が最も高い。これは文章中にある「より」と同じ使い方として適切なものを選ぶ選択式の問題である。
- 1三の問題の正答率が次いで高い。これは用いた資料に合ったスピーチの内容を選ぶ選択式の問題である。
- 2四の問題の正答率が最も低い。これは資料を読み、中心となる文や語を見つけて要約する記述式の問題である。
- 3三(1)ウの問題の無解答率が最も高い。これは「積み(重ね)」の漢字を、文に合わせて正しく書く問題である。

形式別結果

記述式の問題については、全国を上回った。また、無解答率も、すべての形式で全国より低い。短答式の正答率が全国との差が大きい。

	選択式(8問)	短答式(3問)	記述式(3問)
全国正答率	71.7%	70.6%	40.2%
全国無解答率	1.5%	9.9%	6.4%

領域別結果

書くことについては、全国を上回った。無解答率も、すべての領域で全国より低い。言葉の特徴や使い方に関する事項の領域が全国との差が最も大きい。

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い方に関する事項
全国正答率	77.8%	60.7%	47.2%	68.3%
全国無解答率	0.4%	5.9%	3.3%	6.3%

観点別結果

思考・判断・表現の観点については、全国に近付いている。知識・技能の正答率の方が全国との差が、大きくなっている。無解答率は、どちらも全国よりも低い。

	知識・技能	思考・判断・表現
全国正答率	68.3%	62.1%
全国無解答率	6.3%	2.9%

調査問題を活用した授業改善のための指導資料
①全国的に課題の見られた問題を活用した指導例

問題番号 2 の四

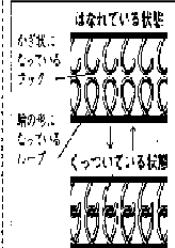
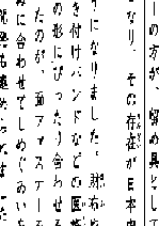
本市正答率 28.9%
全国正答率 29.7%
本市無解答率 4.5%
全国無解答率 5.5%

○ ○ (条件)
面ファスナーは、...
五十文字以上、七十文字以内...
...
...
...
...
...

Handwriting practice grid with text and a drawing of a face fastener.

面ファスナーは、かさや傘やついで、さまざまな製品の留め具として使われています。簡単にこいつ付けたら、はがしたりすることができる。一九四八年にスイスで発明された。...
一九六〇年に、日本ではじめに面ファスナーの製造、販売が始まりました。しかし、そのよさを賞い受けるやがて、世の中はとりまけました。広く知られるようになった。...
一九六四年十月の東洋通商貿易協定の調案で、面ファスナーの製造の特許権の日本に帰属することになった。面ファスナーが採用されたのです。新製品の流通作業の際には、別年次発行の参考書を、面ファスナーの構造、販売に関する資料として出すことになりました。

長時間でヘッドレストが、を交換する必要があります。そのため、一つ一つ取り外さなければならぬ。ヘッドレストは、ヘッドレストの両端に面ファスナーの付いている。その存在が日本中に知られるようになった。...
一九八〇年代には、私たちの身近にある製品でも使われるようになり、足袋、靴や、用品にも使われるようになった。...
このように、面ファスナーは、身の回りに使われている。その存在が日本中に知られるようになった。...
一九八〇年代には、私たちの身近にある製品でも使われるようになり、足袋、靴や、用品にも使われるようになった。...
このように、面ファスナーは、身の回りに使われている。その存在が日本中に知られるようになった。...



2 相川さんの手帳では、身近にある便利なものについて調べています。相川さんは、面ファスナーを選びました。次に、相川さんが選んだ「資料」です。これをよく読んで、まとの問いに答えましょう。

必要な知識及び技能

○文章の構成や展開、種類と特徴についての理解 ○情報と情報の関係付けの仕方を理解し使うこと

- [1]文章全体の構成から内容を把握する。
- [2]相川さんがまとめようとしている内容を把握する。
- [3]問われていることと、それに関する叙述を把握する。
(第5段落から中心となる語や文に必要な応じてサイドラインを引く)
- [4]書く条件を把握する。
- [5]条件に合わせて記述し、読み返して確かめる。

<正答例>面ファスナーはしっかりとくっつきかん単にはがせることから、物がうかぶ国際うちゅうステーションの中で、身の回りの全ての物の固定に使われている。(70字)

誤答例とその原因

(誤答例1)

一人の気づきからたん生した面ファスナーは、人びとの要求に応える形で、活やくの場を広げ、さらなる便利さが追求されてきた。



相川さんがまとめようとしていることが捉えられていない。
条件(資料からの言葉や文の取り上げ)は満たしているが、もう1つの条件(面ファスナーのよさ・国際宇宙ステーションでの面ファスナーの使われ方)は満たしていない。

(誤答例2)

国際うちゅうステーションの中では、ペンやスプーン、カメラやコンピュータなど、身の回りの全ての物を固定するために面ファスナーが使われている。



相川さんがまとめようとしていることは捉えられている。条件(国際宇宙ステーションでの面ファスナーの使われ方)は満たしているが、もう1つの条件(面ファスナーのよさ)は満たしていない。

ステップ1	「何のために」情報を集めるのか目的を確かめる。
ステップ2	必要な情報(それを読み取る視点)を確かめる。
ステップ3	読み取った情報は、サイドラインを引いたりノートへ抜き出したりするなど、1つずつを目に見える形で処理する。 情報が複数ある場合は、2つの情報を同時に処理しない。
ステップ4	長い文章や複数の段落などから複雑な情報を整理するには、取り出した情報を要素ごとに分解・仲間分けしたり、順序立てたりしてまとめる。
ステップ5	複数の情報をまとめたり多様な条件でまとめたりすることが難しい場合は、まずは1つずつまとめる。 徐々に情報や条件の数を増やす。

②基礎的・基本的な内容の定着を図る指導例及び知識や技能を活用した指導例

3

丸山さんの学級では、国語の学習で、気持ちをよく学校生活を送ることができるよう、自分の考えを
手紙の本達に主張する文章を書くことにしました。次は、丸山さんが書いた「文章の下書き」です。
これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の下書き】

一人一人が責任をもてかたづけよう

丸山 雄三

わたしは、だれもが気持ちよく生活するために、一人一人が責任をもてかたづけた物をかた
づけることが大切だと考えます。

みなさんは、休み時間後の教室にボールが蹴されたまま、どこかへ行ってしまったのを見かけたことは
ありませんか。おなじは、ときどき見かけることがあります。時には、みんなが使っていた
ボールがたづけられずに残されています。また、遊具置き場では、一輪車やたしあが決められた
所に置かれず、すみのうしろ、つらな重たいところに置かれています。かたづけられず残ったものは
だれもかたづけることが、エビ、いんげんなど思っています。もちろん、遊び終わったらすぐには
遊具をかたづけることが必ずしも都合があるでしょう。それでも、きちんとかたづけられ
わたしたちは気持ちよく遊ぶことができます。そうしたい人なにかたづけられたいという考えも
あるかもしれません。確かに、たしあが溜まっていくのは、その人がかたづけてくれないという考
えです。わたしは、使った人がかたづけるべきだと思います。

遊具だけでなくあります。そうじの道具や図書室の本も、使った人が元の場所に戻さないと
かたづけられず、次に使う人は気持ちよく利用することができません。わたしは、

学校の中がきれいになると、わたしたちは気持ちよく生活できます。そのために、わたしは、
一人一人が責任をもてかたづけることが大切だと考えます。

丸山さんが考えた「文章の下書き」の構成についての説明として最も適切なものを、次の1から4
までの中から1つ選んで、その番号を書きまわしなさい。

- 1 自分の主張を最後の段落に書くという構成にすることで、読者が主張と事例との関係がすべ
たから読み進められるようにしている。
- 2 自分の主張を最初と最後の段落に書くという構成にすることで、自分の主張する内容を
確認している。
- 3 自分の主張と最後の段落に書くという構成にすることで、読者が主張を手短かに読み
進められるようにしている。
- 4 自分の主張を最初と最後の段落に書くという構成にすることで、複数の異なる内容の
主張を併せている。

基礎的・基本的な内容の定着に向けた
指導例

文章の構成や展開を考える



丸山さんの最も伝えたい主張が
どこに書かれているかを見付け
ましょう。
題名も主張を見付ける参考にな
りそうですね。

最初の段落と最後の段落に同じ
ような言葉で主張を繰り返して
いるね。



その間の段落は、具体的な出来
事を書いているね。これが主張
の理由だね。

最初と最後に考えを
主張する構成の文章
です。他に文章のは
じめ「または文章の
おわりに」考えを主張
する構成の文章もあ
ります。



知識や技能を活用した指導例

相手を説得するために、条件に合
わせて文章を書き直す

丸山さんは、……の「そうじ」をたしあががたづけたのはよい、と考える人を説得する
ために、「西田さんの話」を用いて「文章の下書き」の……部分をよく読んで書き直そうとして
います。あとの問いに答えましょう。

【西田さんの話】（話し言葉のそうじ指導例）

毎日、そうじ担当が決められて遊具をかたづけています。でも、
そのために時間が足りなくて、「まー、はー」といってさうじ
までおぼろろくもなるとも言っています。そんなアキマ、きれいな
そうじができていくと聞きます。



（条件）
○「そうじ」を担当の人をかたづけたらよい、という考えに反対する高橋君、その理由を
書くこと。
○「西田さんの話」から話し言葉をとりつけて書くこと。
○「六」を「一」で置き換えて書き直すこと。

そうじ担当がかたづけることに反対意
見を書くためには、使った人がかたづけ
る」と書けばよいですね。では、どうして
そう思うか、理由を考えましょう。



西田さんが話している「そうじ」の時間が
足りなくなる「きれいにできなくて困っ
ている」ことが、理由になりそうです。

書く時だけでなく、話す時にも、
理由を意識して加えるようにす
るとよいですね。



調査結果

	平均正答数	平均正答率	全国比
R3全国	11.2/16	70.2%	100%

問題別集計結果

設問	正答率(%)	誤答率(%)	無解答率(%)
1(1)	62.5	37.5	1.8
1(2)	83.3	16.7	1.5
1(3)	53.8	46.2	1.1
1(4)	88.1	11.9	0.7
1(5)	85.1	14.9	1.2
2(1)	57.0	43.0	1.4
2(2)	71.6	28.4	1.0
2(3)	41.7	58.3	4.5
3(1)	94.9	5.1	0.2
3(2)	89.3	10.7	0.3
3(3)	62.1	37.9	1.3
3(4)	48.6	51.4	9.5
3(5)	72.2	27.8	0.9
4(1)	81.2	18.8	1.5
4(2)	53.9	46.1	2.0
4(3)	53.4	46.6	8.1

○3(1)の問題の正答率が最も高い。これは棒グラフから、数量を読み取る選択式の問題である。
 ○3(2)の問題の正答率が次いで高い。これは棒グラフから項目間の関係を読み取る選択式の問題である。
 ○2(3)の問題の正答率が最も低い。これは複数の図形を組み合わせた平行四辺形について図形を構成する要素などに着目し、図形の構成を捉えて面積の求め方と答えを書く記述式の問題である。
 ○3(4)の問題の無解答率が最も高い。これは帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を書く記述式の問題である。

形式別結果

全国との差は短答式が最も小さく、選択式が最も大きい。
 無解答率はすべての形式で全国を下回っている。

	選択式(6問)	短答式(6問)	記述式(4問)
全国正答率	76.0%	75.8%	53.0%
全国無解答率	1.0%	1.5%	6.7%

領域別結果

全国との差は、数と計算領域が最も小さく、データの活用領域が最も大きい。
 無解答率は5領域中4領域で全国を下回っている。

	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
全国正答率	63.1%	57.9%	74.7%	75.9%	76.0%
全国無解答率	3.9%	2.4%	1.1%	1.5%	2.8%

観点別結果

全国との差は、思考・判断・表現の観点が大きい。
 無解答率は2つの観点とも全国を下回っている。

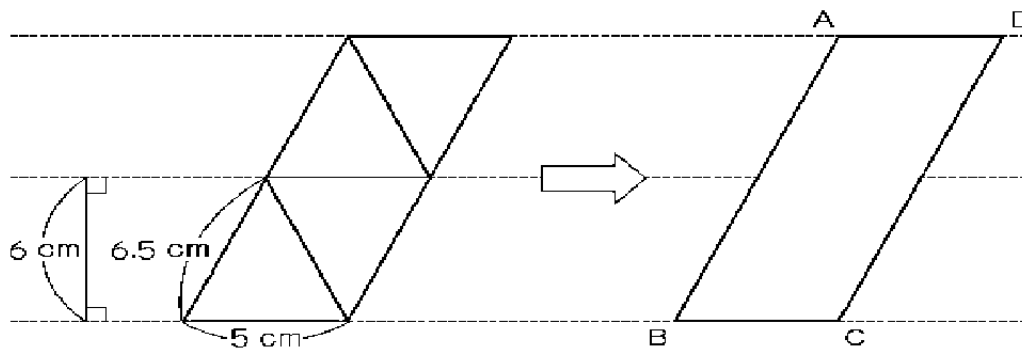
	知識・技能	思考・判断・表現
全国正答率	74.1%	65.1%
全国無解答率	1.2%	4.5%

調査問題を活用した授業改善のための指導資料

①全国的に課題の見られた問題を活用した指導例

問題番号 2 の(3)

上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。



平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。

辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きま
しょう。 そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたのか
がわかるようにしましょう。

また、平行四辺形ABCDの面積が何 cm^2 になるのかも書きましょう。

本市正答率	41.7%
全国正答率	46.0%
本市無解答率	4.5%
全国無解答率	4.6%

必要な知識及び技能

○平行四辺形の面積を公式を使って求める

- [1]問題文から解答するときの条件を読み取る。
- [2]平行四辺形の面積を求める公式を想起する。
- [3]必要な情報のうち、分かっていないことを明確にする。
- [4]分かったことをもとに、面積を求める。
- [5]面積の求め方の説明を、問題文の条件に合わせて式や言葉で記述する。

<正答例>

【求め方】 辺BCを底辺としたとき、高さは $6 \times 2 = 12$ で、12cmです。
平行四辺形ABCDの面積は、 $5 \times 12 = 60$ で、60 cm^2 です。

【平行四辺形の面積】 60(cm^2)

誤答例とその原因

(誤答例1) 二等辺三角形の4つ分の面積を求めているもの

問題文の「平行四辺形の面積の公式を使って」という記述を読み取ることができていない。

(誤答例2) 高さを「6.5cm」の二つ分と捉えているもの

底辺と高さの関係を把握することができていない。
平行四辺形の面積を求める公式の意味を理解できていない。

ステップ1	問題文を読み、解答するときの条件を読み取って、図形の面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述する問題であることを把握する。
ステップ2	問題を解決するために必要な情報は何かを確認し、与えられた情報のうち、必要な情報と不必要な情報を区別する。
ステップ3	必要な情報のうち不明な情報は、図形の性質を活用したり計算したりして明確にする。
ステップ4	取り出したり明確にしたりした必要な情報を基に、図形の面積の求め方と答えを式や言葉を用い、「どの辺を底辺や高さとしたのか。」「図形をどのように見たのか。」等が明確になるように論理的に記述する。

②基礎的・基本的な内容の定着を図る指導例及び知識や技能を活用した指導例

(1) 次の表は、インターネットで調べた道のりと時間と、たけるさんたちが歩いた道のりと時間を表しています。

道のりと時間		
	道のり (m)	時間 (分)
ア インターネット	600	20
イ たけるさんたち	500	7

どちらのほうが速いかを調べるために、下の計算をしました。

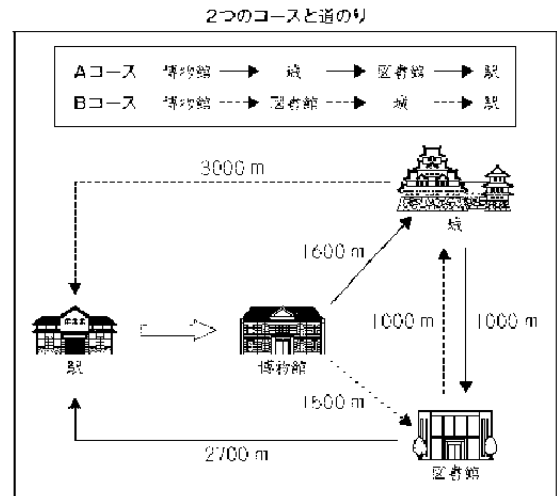
$$\begin{aligned} \text{ア インターネット} & \quad 600 \div 20 = 30 \\ \text{イ たけるさんたち} & \quad 500 \div 7 = 71.4 \dots \end{aligned}$$

上の計算からどのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 1分間あたりに進む道のりは80mと約71mなので、アのほうが速い。
- 2 1分間あたりに進む道のりは80mと約71mなので、イのほうが速い。
- 3 1分間あたりにかかる時間は80分と約71分なので、アのほうが速い。
- 4 1分間あたりにかかる時間は80分と約71分なので、イのほうが速い。

(2) たけるさんたちは、駅に集合してから博物館へ行きます。博物館の後のコースについては、下の2つのコースを考えました。



たけるさんたちは、道のりがBコースより短いAコースで行くことにしました。

Aコースの道のりは、Bコースの道のりより短いですが、求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

基礎的・基本的な内容の定着に向けた指導例

(1) 速さを求める除法の式と商の意味を理解する

ア、イの式のそれぞれの数は何を表していますか。

歩いた時間や道のりです。

道のりを速さでわったときに求められる答えは、何を表していますか。

1分間あたりに進む道のりです。だから、アの方が速いと言えます。

まずは式を読み取り、次に商の意味を考えることが大切です。

知識や技能を活用した指導例

(2) 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、求め方と答えを記述する

二つの道のりは、それぞれ何mになりますか。

Aは5300m、Bは5500mです。

城と図書館の間の道のりが「1000m」ですね。この「1000m」を計算に入れずに、求め方と答えを記述することはできますか。

例えば、Aコースは1600m+2700m、Bコースは1500m+3000mと計算でき、それぞれの道のりの差を求めることができます。

より簡潔な考えができるように共通する「1000m」に着目させ、求め方を考えさせることが大切です。

調査結果

	平均正答数	平均正答率	全国比
R3全国	9.0/14	64.6%	100%

問題別集計結果

設問	正答率(%)	誤答率(%)	無解答率(%)
1一	90.7	9.3	0.1
1二	92.3	7.7	0.1
1三	55.5	44.5	3.3
2一	22.9	77.1	0.2
2二	76.6	23.4	8.3
3一	38.4	61.6	0.3
3二	57.3	42.7	0.4
3三	69.7	30.3	7.5
3四	22.8	77.2	24.9
4一①	97.3	2.7	1.6
4一②	86.8	13.2	2.7
4二	70.7	29.3	1.2
4三	34.8	65.2	1.8
4四	68.7	31.3	10.3

○4一①の問題の正答率が最も高い。これは「俚(ばして)」を、文脈に即して正しく読む短答式の問題である。
 ○1二の問題の正答率が次いで高い。これは質問の意図を捉える問題であり、話合いの話題や方向を踏まえ、質問の意図として適切なものを選択肢から選ぶ問題である。
 ○3四の問題の正答率が最も低く、無解答率が最も高い。これは、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、文章中の表現を引用した上で、分かったことと自分の考えを書く記述式の問題である。

形式別結果

どの問題形式においても、全国を下回っているが、記述式の正答率は全国との差が0.1%であり(平成31年度は2.1%の差)、全国と同程度になっている。

	選択式(6問)	短答式(4問)	記述式(4問)
全国正答率	63.9%	74.4%	56.0%
全国無解答率	0.4%	3.2%	11.4%

領域別結果

話すこと・聞くことについては、平均正答率が全国と同程度であり、無回答率は全国より低い。伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項において、全国との差が最も大きい。

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
全国正答率	79.8%	57.1%	48.5%	75.2%
全国無解答率	1.3%	6.2%	8.1%	1.7%

観点別結果

どの観点においても、全国を下回っているが、平成31年度の調査結果と比べ、すべての観点において、全国正答率に近づいている。無解答率は全国とほぼ同程度である。

	関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語についての知識・理解・技能
全国正答率	56.0%	79.8%	57.1%	48.5%	75.2%
全国無解答率	11.4%	1.3%	6.2%	8.1%	1.7%

調査問題を活用した授業改善のための指導資料

①全国的に課題の見られた問題を活用した指導例

問題番号 3 の四

四 「紹介」にも「線部」様々な評価をするところがありますが、「文章の一部」では「吾輩」は「黒」をどのように評価しているか、その接し方を示していますが、また、あなたも「吾輩」の接し方を考えますか。次の条件1と条件2にしたがって、その接し方について、あなたの考えを具体的に書く。

条件1 「文章の一部」から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用し、その上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしているかが分かるのかを具体的に書く。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書く。

※一部省略

「吾輩」は「黒」をどのように評価しているか、その接し方を示していますが、また、あなたも「吾輩」の接し方を考えますか。次の条件1と条件2にしたがって、その接し方について、あなたの考えを具体的に書く。

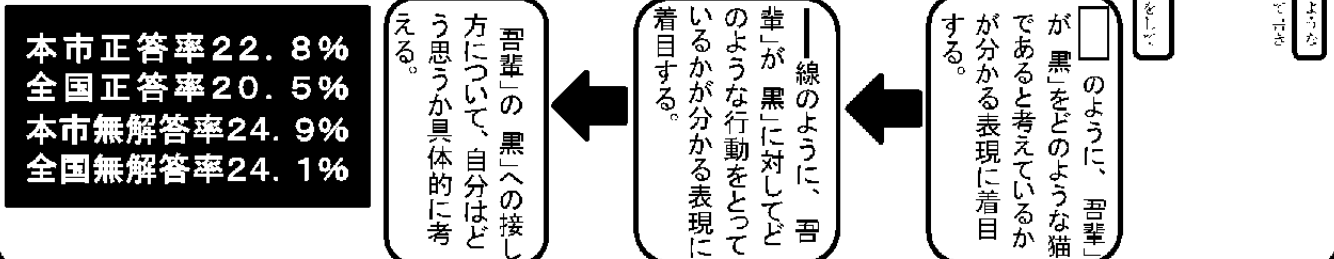
「吾輩」は「黒」をどのように評価しているか、その接し方を示していますが、また、あなたも「吾輩」の接し方を考えますか。次の条件1と条件2にしたがって、その接し方について、あなたの考えを具体的に書く。

「吾輩」は「黒」をどのように評価しているか、その接し方を示していますが、また、あなたも「吾輩」の接し方を考えますか。次の条件1と条件2にしたがって、その接し方について、あなたの考えを具体的に書く。

「吾輩」は「黒」をどのように評価しているか、その接し方を示していますが、また、あなたも「吾輩」の接し方を考えますか。次の条件1と条件2にしたがって、その接し方について、あなたの考えを具体的に書く。

「吾輩」は「黒」をどのように評価しているか、その接し方を示していますが、また、あなたも「吾輩」の接し方を考えますか。次の条件1と条件2にしたがって、その接し方について、あなたの考えを具体的に書く。

「吾輩」は「黒」をどのように評価しているか、その接し方を示していますが、また、あなたも「吾輩」の接し方を考えますか。次の条件1と条件2にしたがって、その接し方について、あなたの考えを具体的に書く。



必要な知識及び技能

○引用の仕方について理解を深め、使うこと ○事象や行為、心情を表す語句の量を増やすこと

- [1] 問題文と条件を読んで、文章を読み取る視点を確認する。
- [2] 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を見付ける。
- [3] 「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしているかが分かる表現を見付ける。
- [4] 読み取ったことをもとに条件1に合わせて書き、その後、条件2の自分の考えを書く。

< 正答例 >

「はなはだ御しやすい猫である」と評価しており、「吾輩」は「黒」の機嫌をとるような接し方をしていることが分かる。私は、このような「吾輩」の接し方はとても賢いと思う。

誤答例とその原因

(誤答例1)

吾輩は少々気味が悪くなって、うちへ帰りました。吾輩は黒に近づきすぎないように接していることが分かります。私は、このような吾輩の行動は理解でき、決して悪い接し方だとは思いません。



自分の考えを具体的に書いているが、文章の内容を把握できておらず、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用できていない。

(誤答例2)

「腕力と勇氣とにいたってはとうてい黒の比較にはならない」とあり、「吾輩」の「黒」への接し方について、私も見習いたい。



「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用しているが、その部分をもとに「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしているのかが書かれていない。

ステップ1	どのような視点で文章を読み解いていくのかを確認し、その視点に沿って内容を理解する。
ステップ2	引用の仕方(文章の一節や文、語句などをそのまま抜き出す、「」でくるなど)について確認する。
ステップ3	条件に合った表現や語句を文章中から抜き出す。サイドラインを引いたり、ノートに箇条書きで抜き出したりするなど、見える形にしておく。必要があれば、抜き出した表現や語句を条件に合わせて分類して整理する。
ステップ4	抜き出した表現や語句から、登場人物の言動の意味や作者のものの見方・考え方について、分かることを書く。
ステップ5	登場人物の言動の意味や作者のものの見方・考え方について、自分の考えを書く。その際、なぜそう考えるのか分かるように、自分の体験に基づけるなどして、具体的に書くようにする。

②基礎的・基本的な内容の定着を図る指導例及び知識や技能を活用した指導例

4 教育内容学習の時間中、单元的学習活動として、紙芝居「二回目のメール」について調べた内容を、メールで伝える学習活動を行います。

紙芝居「二回目のメール」の学習活動として、調べた内容を、メールで伝える学習活動を行います。

紙芝居「二回目のメール」の学習活動として、調べた内容を、メールで伝える学習活動を行います。

紙芝居「二回目のメール」の学習活動として、調べた内容を、メールで伝える学習活動を行います。

紙芝居「二回目のメール」の学習活動として、調べた内容を、メールで伝える学習活動を行います。

紙芝居「二回目のメール」の学習活動として、調べた内容を、メールで伝える学習活動を行います。

1 尊敬語

2 謙譲語

3 丁寧語

1 紙芝居「二回目のメール」の学習活動として、調べた内容を、メールで伝える学習活動を行います。

2 紙芝居「二回目のメール」の学習活動として、調べた内容を、メールで伝える学習活動を行います。

3 紙芝居「二回目のメール」の学習活動として、調べた内容を、メールで伝える学習活動を行います。

基礎的・基本的な内容の定着に向けた指導例

三 相手や目的に応じて敬語を適切に使う

文章の中で使われている敬語を分類してみましょう。

文末に「です」「ます」が使われているね。

差し上げる」「申しませす」「説明する」「お尋ねになる」はどのように分類するのかな。

それぞれの動作や行為は誰がしているのか考えてみましょう。

日頃から相手や場面に応じて敬語を意識して使うことが大切です。

知識や技能を活用した指導例

四 伝えたい事柄が、敬語を使って伝わるように書く

まずは、「です」「ます」を使って文章を書いてみましょう。

事前に「確認したい」「教えてほしい」ということをどう敬語に直せばいいかな。

読み返してみて、尊敬語と謙譲語を間違えていないか確認しよう。

確認事項については相手に回答してもらおうので、最後に言葉を加えるとさらによいですね。

調査結果

	平均正答数	平均正答率	全国比
R3全国	9.1/16	57.2%	100%

問題別集計結果

設問	正答率(%)	誤答率(%)	無解答率(%)
1	74.3	25.7	1.3
2	68.0	32.0	9.3
3	66.1	33.9	0.2
4	45.0	55.0	9.4
5	79.8	20.2	1.2
6(1)	83.0	17.0	3.6
6(2)	56.5	43.5	17.8
6(3)	28.3	71.7	30.4
7(1)	93.3	6.7	2.4
7(2)	27.6	72.4	25.8
8(1)	83.1	16.9	4.6
8(2)	37.3	62.7	0.9
8(3)	12.3	87.7	31.8
9(1)	39.7	60.3	3.9
9(2)	62.0	38.0	15.3
9(3)	26.7	73.3	29.3

○7(1)の問題の正答率が最も高い。関数で、与えられた表やグラフから、必要な情報を読み取り、グラフ上の4つの点から当てはまる点を選ぶ問題である。
 ○8(1)の問題の正答率が次いで高い。これは資料の活用で、ヒストグラムからある階級の度数を読み取る問題である。
 ○8(3)の問題の正答率が最も低く、無解答率が最も高い。これは資料の活用で、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題である。本市の正答率は、全国平均正答率11.1%を上回っているものの、全国的にも、継続して課題となっている問題である。

形式別結果

どの形式においても全国を下回っているが、選択式の平均正答率が全国に最も近い。(令和3年度全国比98%、平成31年度全国比96%)

	選択式(2問)	短答式(9問)	記述式(5問)
全国正答率	52.5%	70.5%	35.0%
全国無解答率	0.7%	7.9%	21.2%

領域別結果

資料の活用について、全国と同程度であった。4問中、3問で全国を上回った。しかし、その中の「グラフの特徴を説明する問題」では、正答率が12.3%と低い値であった。

	数と式	図形	関数	資料の活用
全国正答率	64.9%	51.4%	56.4%	53.9%
全国無解答率	11.4%	11.7%	12.0%	9.6%

観点別結果

数量や図形などについての知識・理解の平均正答率が全国に最も近い。(令和3年度全国比98%、平成31年度94%)

	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解
全国正答率	41.1%	77.6%	65.6%
全国無解答率	19.7%	3.1%	5.2%

調査問題を活用した授業改善のための指導資料

①全国的に課題の見られた問題を活用した指導例

問題番号 8 の(3)

8 桃花さんは、5月にA市のキャンプ場に行くことになりました。キャンプの準備をするために、キャンプ場の過ごしやすさについて、気候に着目し、A市の昨年5月の最高気温、最低気温、日照時間、最大瞬間風速、降水量をインターネットで調べました。さらに、調べた最高気温から最低気温をひいて気温差を求め、下の表のようにまとめました。

調べたこと

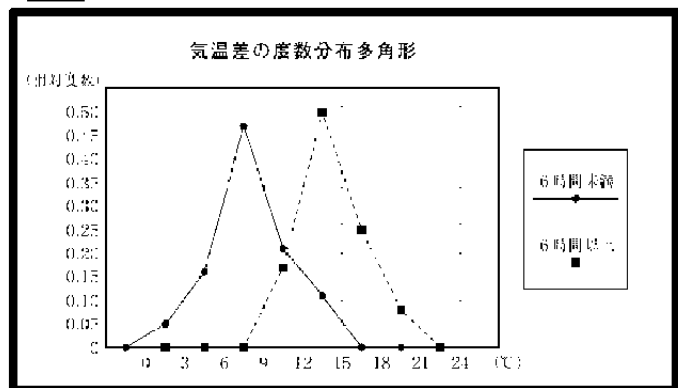
日付	最高気温(℃)	最低気温(℃)	気温差(℃)	日照時間(時間)	最大瞬間風速(m/s)	降水量(mm)
1日	20.9	6.9	14.0	5.8	7.4	0.0
2日	25.9	9.1	16.8	12.0	7.3	0.0
3日	27.3	12.8	14.5	10.3	8.2	0.0
4日	20.3	11.8	8.5	2.5	9.5	0.0
5日	23.5	9.1	14.1	9.9	11.9	0.5
6日	13.2	5.5	7.7	0.1	8.7	2.0
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
31日	20.9	9.2	11.7	2.2	9.1	0.0

◎日照時間とは、1日のうちで、日光によってものの影ができた時間の合計のこと。

気温差の度数分布表

気温差(℃)	6時間未満		6時間以上	
	度数(日)	相対度数	度数(日)	相対度数
以上				
0 ~ 3	1	0.05	0	0.00
3 ~ 6	3	0.16	0	0.00
6 ~ 9	9	0.47	0	0.00
9 ~ 12	4	0.21	2	0.17
12 ~ 15	2	0.11	6	0.50
15 ~ 18	0	0.00	3	0.25
18 ~ 21	0	0.00	1	0.08
合計	19	1.00	12	1.00

(3) 桃花さんは、前ページの気温差の度数分布表をもとに、横軸を気温差、縦軸を相対度数として度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。



気温差の度数分布多角形から、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、気温差の度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

本市正答率 12.3%
 全国正答率 11.1%
 本市無解答率 31.8%
 全国無解答率 32.2%

必要な知識及び技能

○相対度数とは、各階級の総度数に対する割合であることへの理解

$$(\text{相対度数}) = (\text{その階級の度数}) \div (\text{総度数})$$

○度数分布多角形は、ヒストグラムの1つ1つの長方形の上の辺の中点を、順に線分で結んだ折れ線グラフであり、複数の資料の傾向が比べやすくなること

[1] グラフの意味を理解する。

・横軸は1日の気温差を、縦軸は相対度数を表している。

・日照時間が6時間未満のグラフが破線、6時間以上のグラフが実線で表されている。

[2] 2つの度数分布多角形の形状や位置に注目し、比較する。

[3] [2]で分かった度数分布多角形の位置や形状の共通点や差異点を基に説明する。

<正答例> 2つの度数分布多角形が同じような形で、6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にある。したがって、日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある。

誤答例とその原因

(誤答例1)

相対度数の最大値を比べると、日照時間が6時間以上の相対度数の方が高いから。



2つの度数分布多角形の特徴を比較するとき、相対度数の最大値だけに着目している。

(誤答例2)

相対度数が最大の時の温度を比べると、日照時間が6時間以上の方が6°C高いから。



度数分布多角形の横軸のある点のみを比較している。

※ 誤答例1、2ともに、全体的なグラフの形状や位置のずれを総合的に判断できておらず、一部分だけに着目している。

ステップ1

表やグラフなど、与えられた資料がそれぞれ何を表しているか、また、表の項目やグラフの縦軸・横軸が何を表しているかを確かめる。

ステップ2

表やグラフの中にある複数のデータをそれぞれ比較し、共通点や差異点を見出すことで、何が分かるかを考える。

ステップ3

分かったことのうち、説明すべき事柄と関係のあるものを取捨選択し、根拠を明確にする。

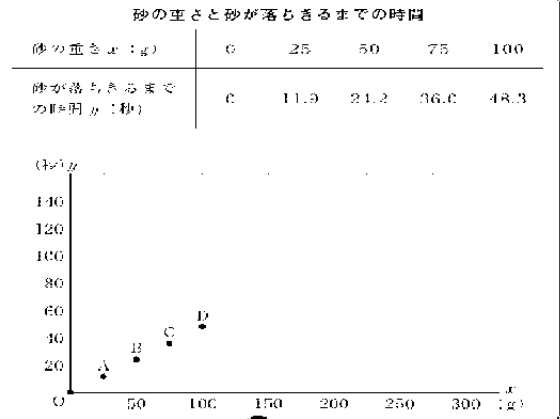
ステップ4

根拠をもとに、数学的な表現を用いて論理的に説明し、結論付けられるよう、「・・・だから、〇〇である。」などの文形を用いながら表現する。

②基礎的・基本的な内容の定着を図る指導例及び知識や技能を活用した指導例

7 学級委員の健斗さんは、2分間スピーチの時間をはかるための砂時計をペットボトルで作ることにしました。その砂時計は、ペットボトルに砂を入れ、砂を通すための穴をあけた厚紙をペットボトルの口にはさんで作ります。

健斗さんは、ペットボトルに入れる砂の重さを決めると、砂が落ちきるまでの時間が決まると考えました。そこで、砂の重さが x gのときに、砂が落ち始めてから落ちきるまでの時間を y 秒として調べ、その結果を、次のように表にまとめ、下のグラフに表しました。



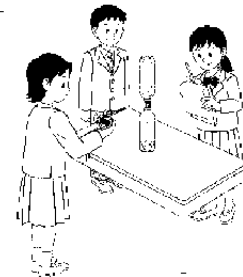
(1) 調べた結果のグラフにおいて、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点は何ですか。

点Aから点Dまでの中から記号を1つ書きなさい。

(2) 健斗さんは、2分をはかるために、砂時計に必要な砂の重さを調べます。

そこで、調べた結果のグラフにおいて、原点Oから点Dまでの点が一直線上にあるとし、砂の重さが増えてもすべての点が同じ直線上にあると考えることにしました。

このとき、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に必要な砂の重さを求める必要はありません。



基礎的・基本的な内容の定着に向けた指導例

(1)与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る



グラフのx軸やy軸が何を表しているかを確認し、表のどの値がグラフのどの点と関連しているのかを調べましょう。



x軸が砂の重さ、y軸は砂が落ちるまでの時間で、表の5つの値の組が、それぞれグラフ上に左から順に点をとっているよ。



表をグラフに表すことで、同一直線になりそうなことに気づくことができます。

知識や技能を活用した指導例

(2)事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する



まず、5つの点が一直線上にあるものとし、直線のグラフをかいてみましょう。その時、グラフ上のどの点に着目して考えればよいでしょうか。



y軸が時間を表しているのです、 $y=120$ のときのx座標を読む方法があるよ。



そうですね。では、グラフ以外の考え方はありませんか。グラフは原点を通る直線です。2つの数量関係を式に表せそうですね。



原点を通る直線だから、 x と y の関係を比例の式で表し、その式に $y=120$ を代入して、 x の値を求める方法があるよ。いろいろな考え方ができるね。



多面的に捉え、それぞれの考えのよさを共感しましょう。

今後の取組について

北九州市では、平成28年度に「わかる授業」づくり5つのポイントを作成しました。そして、昨年度末より、さらに授業の質を高めるための「学びの質を高める授業」づくり5つのポイントを作成し、取組を進めています。ここでは、今回の調査結果の課題解決に向けて「学びの質を高める授業」づくり5つのポイントに基づいた取組例を示しています。

北九州市の目指す「学びの質を高める授業」づくり5つのポイント

- 1 学び合いの「質を高める」基盤づくり
- 2 めあての設定は「子どもと一緒に」
- 3 「問い」と「気付き」を促す発問
- 4 「考えを深める」話し合う活動と書く活動
- 5 まとめと振り返りは「子ども自らの言葉」で



「子どもの学びの充実」
を重視

小学校

【国語科】

今回の調査結果の課題

・「言葉の特徴や使い方に関する事項」領域の、漢字を記述する短答式の問題と短文の中で修飾語に係る言葉を選ぶ選択式の問題において、全国平均との開きがみられた。

課題解決に向けてさらに育成したい力

・文や文章の構造、言葉について、「知る」「理解する」にとどめるのではなく、他の学習場面や日常生活において「活用する」力

取組例

「話し合う活動と書く活動」や「まとめと振り返り」

・新たに知った漢字や言葉などを積極的に使って表したり伝えたりできるようにする。そのために、ノートや黒板に新出漢字や新たに知った言葉を書いておく欄を設けたり、書く活動や振り返りの際に使用する言葉を指定したりする。

【算数科】

今回の調査結果の課題

・「データの活用」領域において、統計的な問題解決の方法を用いた問題において、全国平均との開きがみられた。

課題解決に向けてさらに育成したい力

- ・データを二次元の表に分類整理する力
- ・グラフで表された複数のデータを比較してわかることを記述する力

取組例

「『考えを深める』話し合う活動と書く活動」

・データをどのような項目で分類整理すればよいか、自分の考えを書き話し合うようにする。
・グラフからデータの特徴や傾向を読み取ることができるようにするために、グラフのどの部分に着目したのかを説明する活動を行う。

今後の取組について

中学校



【国語科】

今回の調査結果の課題

・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」領域では、事象や行為を表す多様な語句の意味を選択する問題や、適切な敬語に直し、その敬語の種類を選択する問題において、全国平均との開きがみられた。

課題解決に向けてさらに育成したい力

・学習した語句について、言葉の働きを十分に理解し、会話や文章、他教科の学習や社会生活の中で、相手や場に応じて適切に使うことができる力

取組例

「『考えを深める』話し合う活動と書く活動」

・相手や場を想定しながらスピーチやインタビューを行う、手紙や電子メールを書くなどの活動を取り入れる。
・新たに学習した語句をノートや語彙手帳等に用例とともに書き留め、使用したことが後で確認できるように、使用したら印をつけるなど、生活において使えるようにする。

【数学科】

今回の調査結果の課題

・「図形」領域では、平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることを証明する問題において、全国平均との開きがみられた。

課題解決に向けてさらに育成したい力

・図形の性質を基に、根拠を明確にして、ある事柄が成り立つことについて証明することができる力

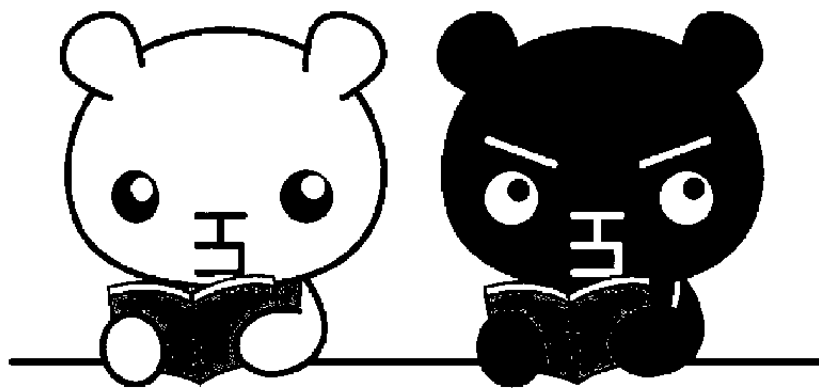
取組例

「『考えを深める』話し合う活動と書く活動」

・図形の証明をする際、今までに学習した図形の性質を使って、その図形の中に、等しい辺の長さや等しい角の大きさなどの関係がないかを見つける活動を取り入れる。その中から証明するために必要な事柄を取り出し、筋道に沿って、証明を書く活動を行う。

※コロナ禍においては、感染拡大防止の観点から、授業実施上の留意点を踏まえた指導をお願いします。

3 学習状況調査結果・分析



学習状況調査結果の経年推移の概況

以下の表は、児童生徒質問紙のうち、前回(平成31年度)にもあった質問事項の中から前回比・全国比ともに改善がみられたものを示しています。

各問に対して肯定的な回答をした本市児童生徒の割合(%)

カテゴリ	質問事項「1は中学校生徒質問紙」	小学校		中学校	
		H31年度 (全国比)	R3年度 (全国比)	H31年度 (全国比)	R3年度 (全国比)
執着心、達成感、継続意識、自己有用感等	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.3 (-0.8)	96.9 (+0.1)	95.7 (+0.6)	96.7 (+0.8)
学習習慣 学習環境等	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます)	69.7 (-1.8)	74.7 (+0.7)	52.0 (+1.6)	65.5 (+2.0)
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます)※1時間以上	17.2 (-1.1)	22.6 (+4.4)	11.7 (-0.7)	16.8 (+2.7)
ICTを活用した 学習状況	5年生までに「1、2年生のときに1受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか ※週1回以上	32.4 (+1.8)	55.6 (+15.5)	31.2 (+0.6)	46.0 (+12.6)
学習に対する 興味・関心や 授業の理解度等	国語の勉強は大切だと思いますか	92.0 (-1.0)	93.3 (+0.1)	92.3 (+1.3)	93.3 (+1.7)
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.7 (-0.5)	92.4 (+0.6)	89.0 (+1.0)	90.8 (+2.1)
	算数[数学]の勉強は大切だと思いますか	93.1 (-0.6)	94.1 (+0.3)	85.6 (+1.4)	85.7 (+1.6)



家で計画を立てて勉強したり、1日1時間以上読書をしたりが前回の市の結果と今回の全国平均を上回っている。



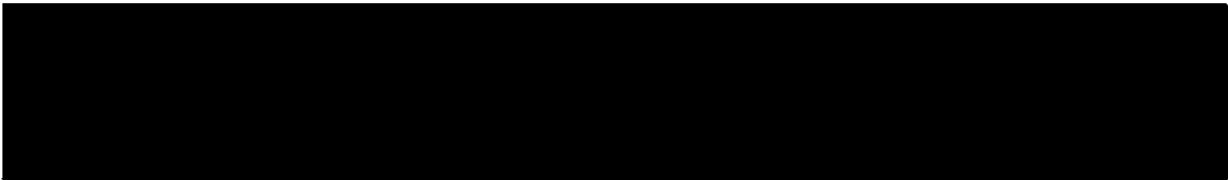
「授業でICT機器を使用している割合」が全国平均を10ポイント以上上回っている。



「国語や算数・数学の勉強は大切だと思う」と回答した子どもの割合が増えてきている。また、「それらで学んだことは将来、役に立つと思う」と回答した子どもの割合は、全国平均を上回っている。



「朝食を毎日食べていますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問で、小学校・中学校ともに肯定的回答が全国を下回っている。



【児童生徒質問紙の回答結果の経年推移】

～ 学びの育ちに関する事項 ～

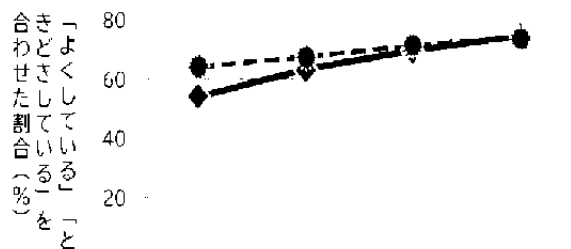
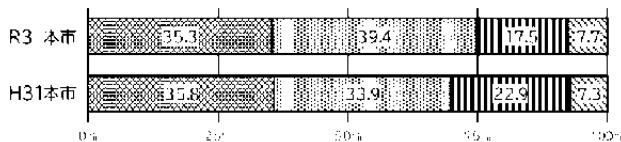
児童生徒質問紙のうち小学校・中学校に共通した質問事項について、経年推移をグラフ化して示しています。
(その他・無回答等は除く)

【学習習慣・学習環境等】

質問事項 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」(学校の授業の予習や復習を含みます。)

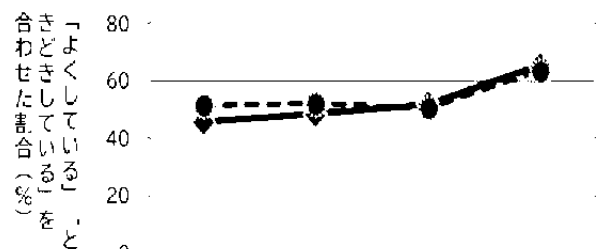
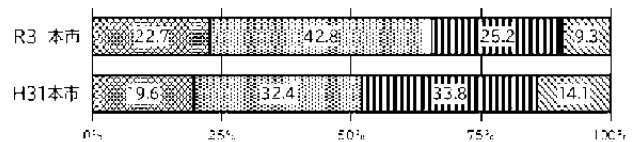
■よくしている ■ときどきしている ■あまりしていない ■全くしていない

【小学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	54.2	63.3	69.7	74.7
全国	64.5	67.6	71.5	74.0

【中学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	45.8	48.4	52.0	65.5
全国	51.5	52.1	50.4	63.5

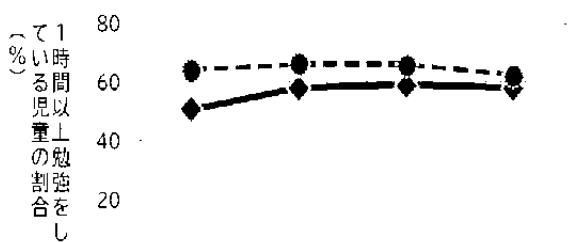
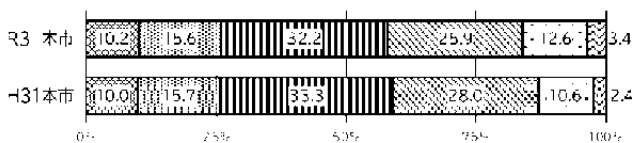
【学習習慣・学習環境等】

質問事項 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれだけの時間を勉強しますか」

(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます。)

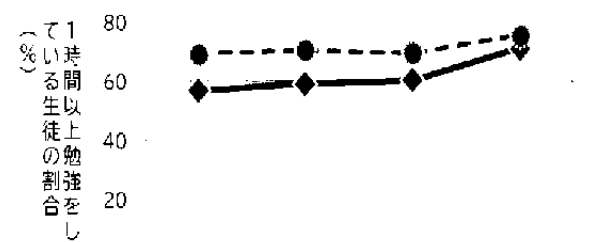
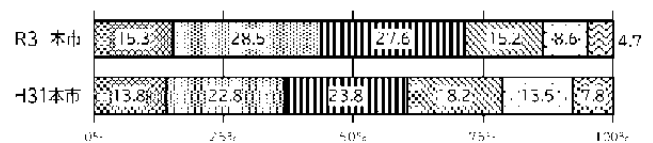
■3時間以上 ■2時間以上、3時間より少ない ■1時間以上、2時間より少ない ■30分以上、1時間より少ない ■30分より少ない ■全くしない

【小学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	50.8	58.1	59.0	58.0
全国	64.4	66.2	66.1	62.5

【中学校】



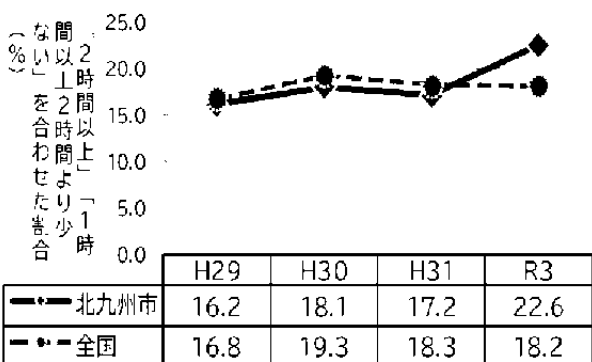
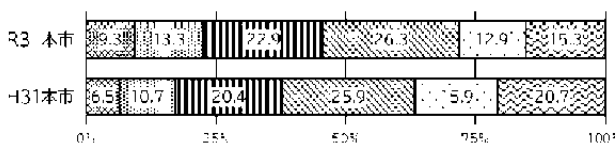
	H29	H30	H31	R3
北九州市	56.8	59.3	60.4	71.4
全国	69.6	70.6	69.8	75.9

【学習習慣・学習環境等】

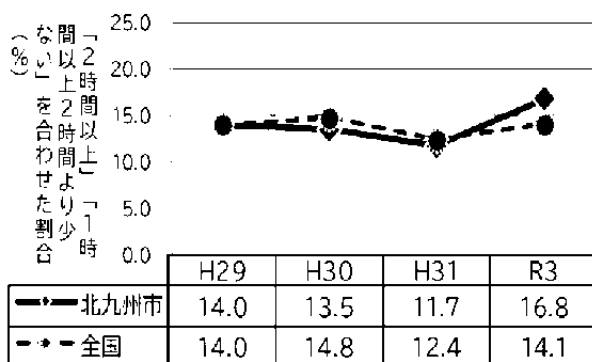
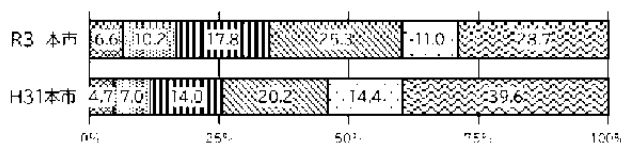
**質問事項 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれだけの時間、読書をしますか」
(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)**

□2時間以上 □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない □10分以上、30分より少ない □10分より少ない □全くしない

【小学校】



【中学校】

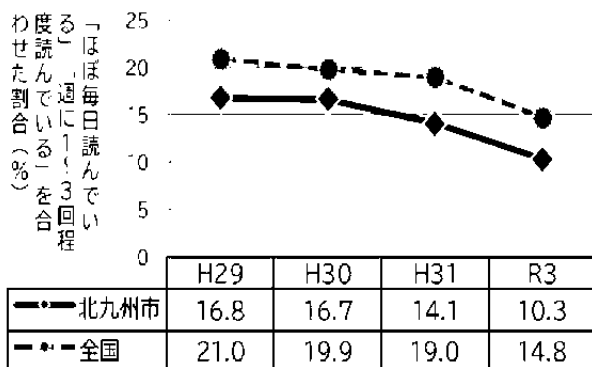
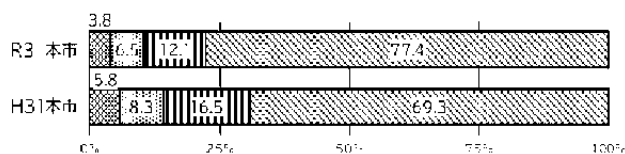


【学習習慣・学習環境等】

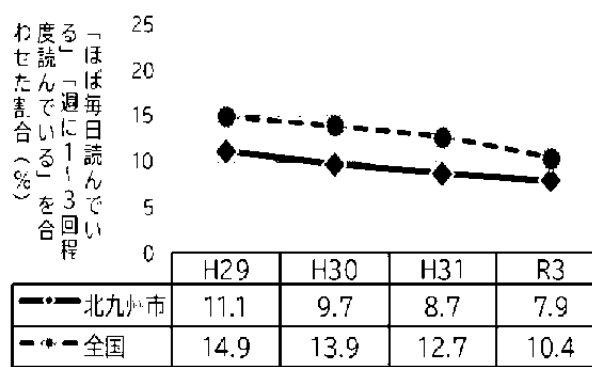
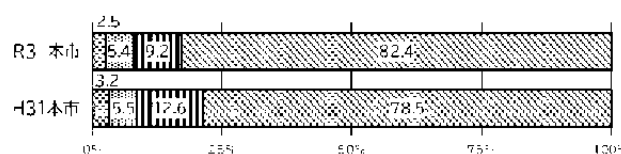
質問事項 「新聞を読んでいますか」

□ほぼ毎日読んでいる □週に1～3回程度読んでいる □月に1～3回程度読んでいる □ほとんど、または、全く読まない

【小学校】



【中学校】

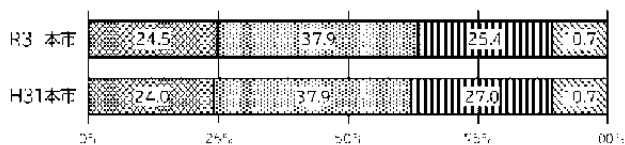


【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

質問事項「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」

☑発表していた ☑どちらかといえば、発表していた ☑どちらかといえば、発表していなかった ☑発表していなかった

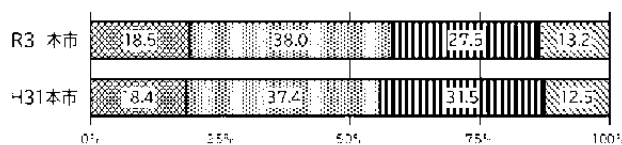
【小学校】



「発表していた」「どちらかといえば、発表していた」を合わせた割合(%)

	H29	H30	H31	R3
北九州市	57.4	58.2	61.9	62.4
全国	64.9	61.0	62.5	63.5

【中学校】



「発表していた」「どちらかといえば、発表していた」を合わせた割合(%)

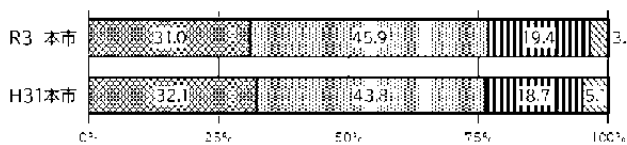
	H29	H30	H31	R3
北九州市	50.2	46.1	55.8	56.5
全国	57.9	53.8	55.8	62.0

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

質問事項「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」

☑当てはまる ☑どちらかといえば、当てはまる ☑どちらかといえば、当てはまらない ☑当てはまらない

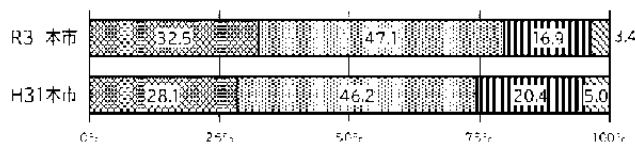
【小学校】



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた割合(%)

	H29	H30	H31	R3
北九州市	71.2	74.6	75.9	76.9
全国	77.9	76.7	77.7	78.2

【中学校】



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた割合(%)

	H29	H30	H31	R3
北九州市	68.4	68.0	74.3	79.6
全国	74.9	73.8	74.8	81.0

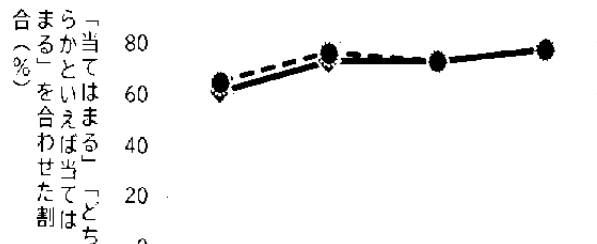
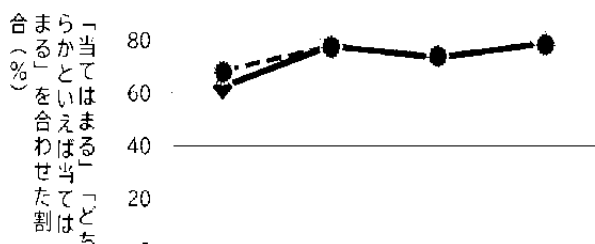
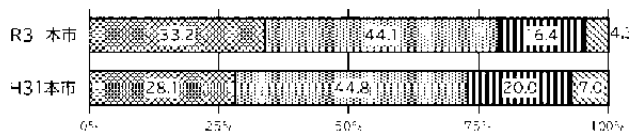
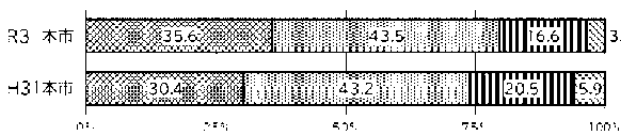
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

質問事項 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】

【中学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	62.3	77.8	73.6	79.1
全国	68.2	77.7	74.1	78.8

	H29	H30	H31	R3
北九州市	61.0	72.9	72.9	77.3
全国	64.8	76.3	72.8	77.8

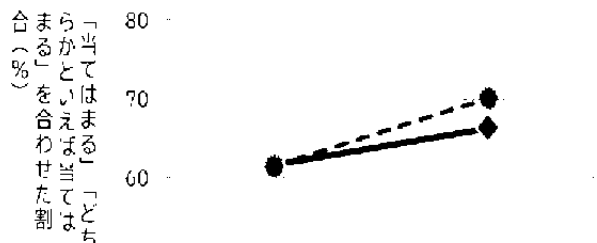
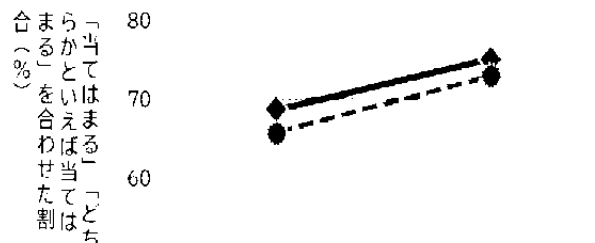
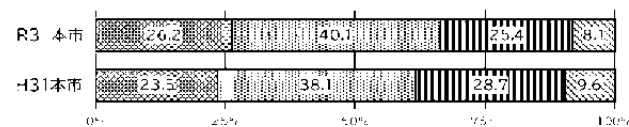
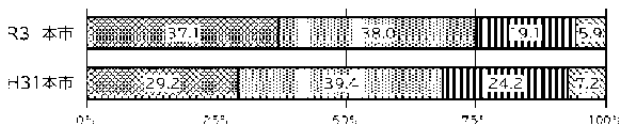
【総合的な学習の時間】

質問事項 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】

【中学校】



	H31	R3
北九州市	68.6	75.1
全国	65.7	73.0

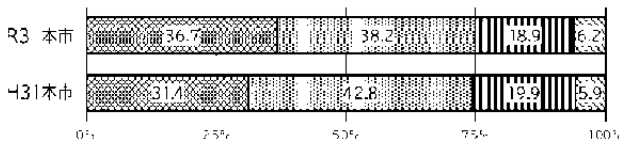
	H31	R3
北九州市	61.6	66.3
全国	61.5	70.2

【学級活動】

質問事項「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

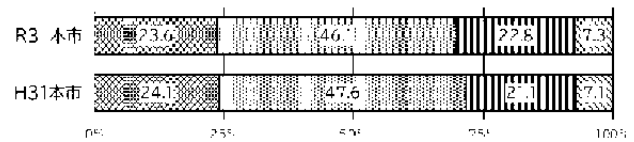
【小学校】



合
ま
ら
か
と
い
え
ば
、
当
て
は
ま
る
☐
ど
ち
ら
か
と
い
え
ば
、
当
て
は
ま
ら
な
い
☐
当
て
は
ま
ら
な
い
☐

	H31	R3
●●●北九州市	74.2	74.9
■■■全国	74.0	73.4

【中学校】



合
ま
ら
か
と
い
え
ば
、
当
て
は
ま
る
☐
ど
ち
ら
か
と
い
え
ば
、
当
て
は
ま
ら
な
い
☐
当
て
は
ま
ら
な
い
☐

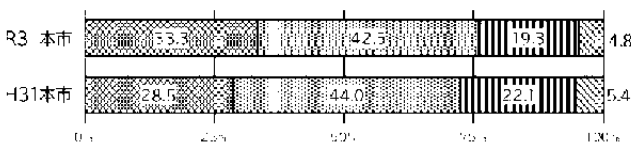
	H31	R3
●●●北九州市	71.7	69.7
■■■全国	71.6	73.9

【学級活動】

質問事項「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

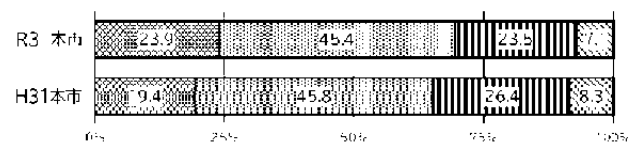
【小学校】



合
ま
ら
か
と
い
え
ば
、
当
て
は
ま
る
☐
ど
ち
ら
か
と
い
え
ば
、
当
て
は
ま
ら
な
い
☐
当
て
は
ま
ら
な
い
☐

	H31	R3
●●●北九州市	72.5	75.8
■■■全国	73.4	73.5

【中学校】



合
ま
ら
か
と
い
え
ば
、
当
て
は
ま
る
☐
ど
ち
ら
か
と
い
え
ば
、
当
て
は
ま
ら
な
い
☐
当
て
は
ま
ら
な
い
☐

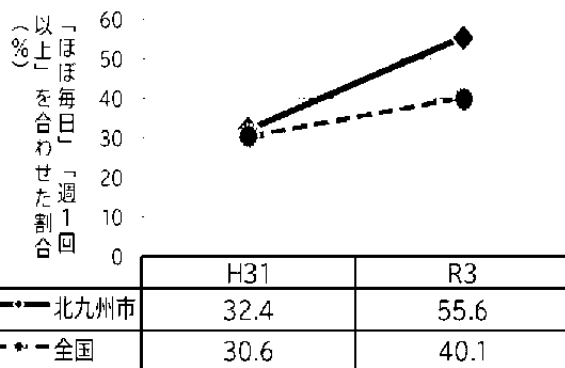
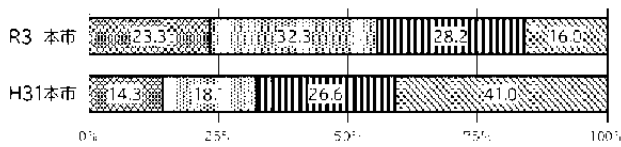
	H31	R3
●●●北九州市	65.2	69.3
■■■全国	65.6	69.8

【ICTを活用した学習状況】

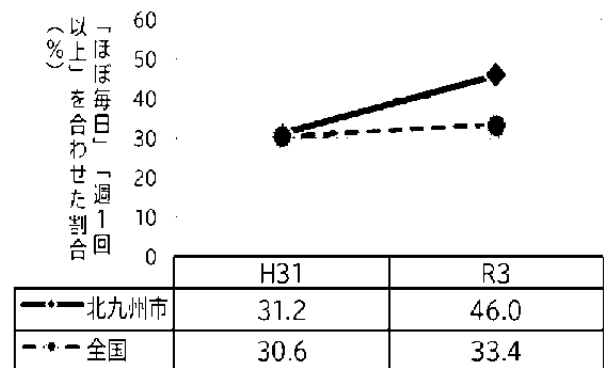
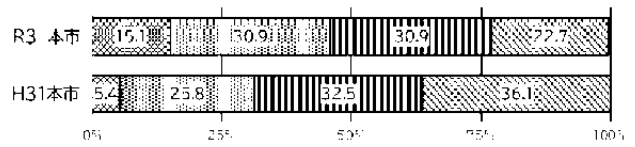
質問事項 「5年生までに[1、2年生のときに]受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」

□ほぼ毎日 □週1回以上 □月1回以上 □月1回未満

【小学校】



【中学校】

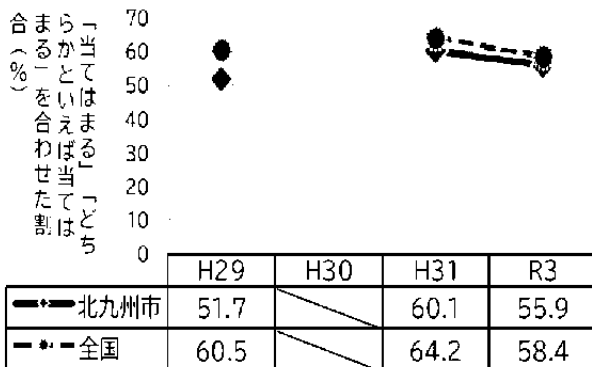
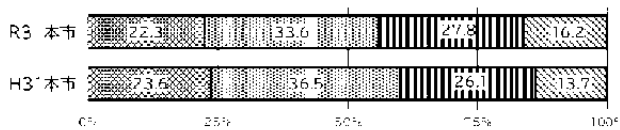


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

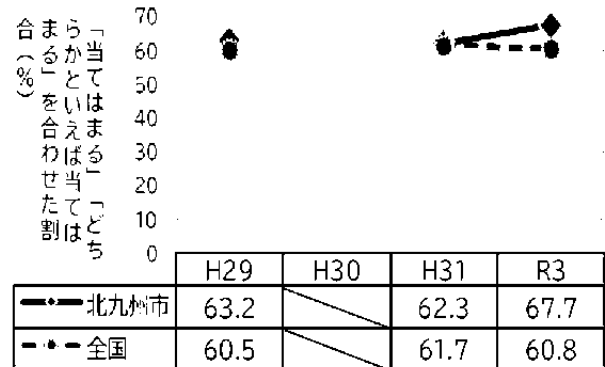
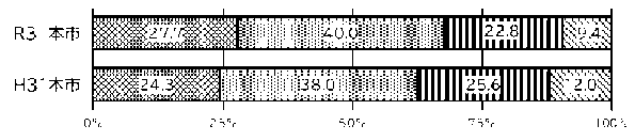
質問事項 「国語の勉強は好きですか」

□当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

【小学校】



【中学校】

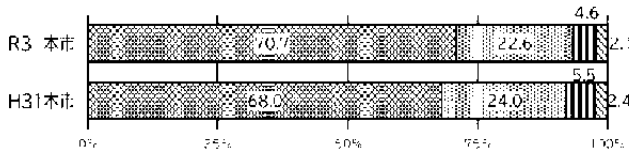


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

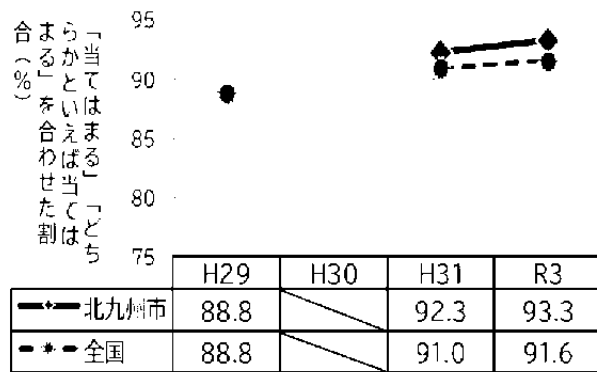
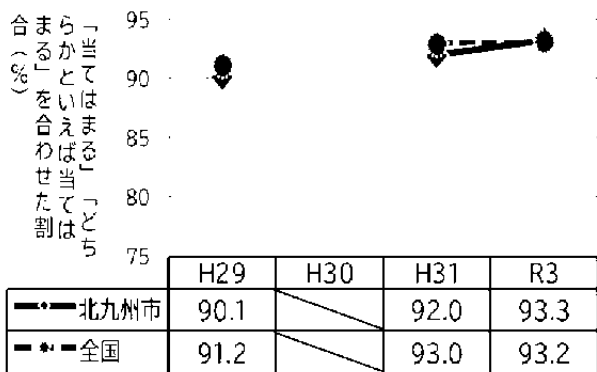
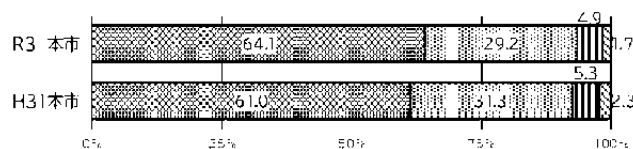
質問事項 「国語の勉強は大切だと思いますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



【中学校】

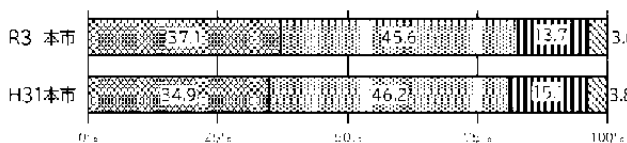


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

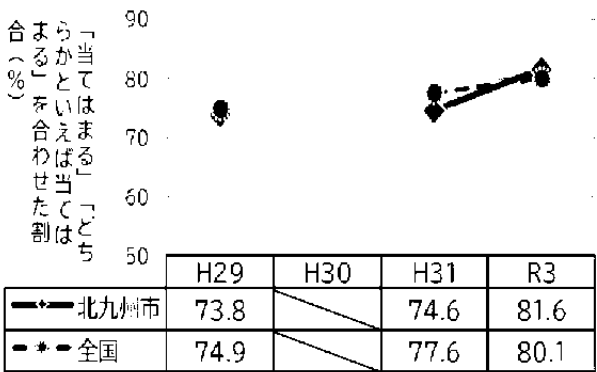
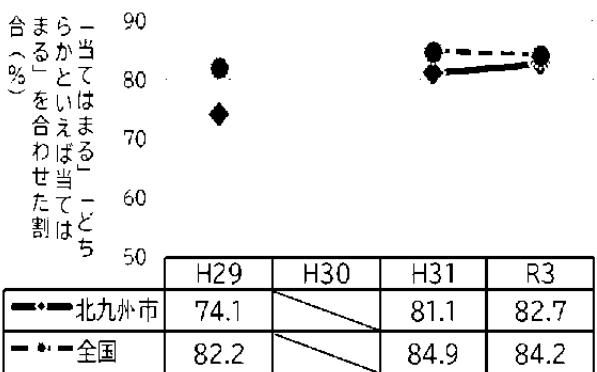
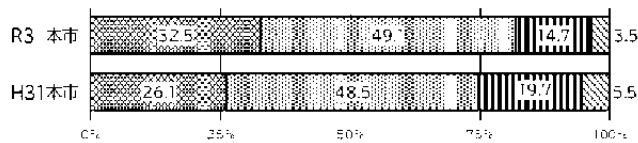
質問事項 「国語の授業の内容はよく分かりますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



【中学校】

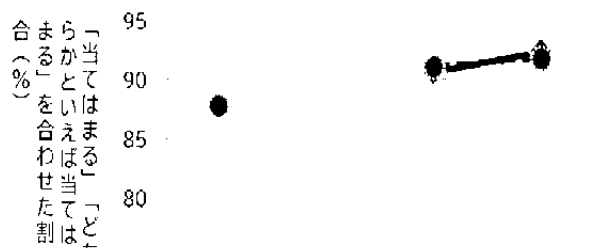
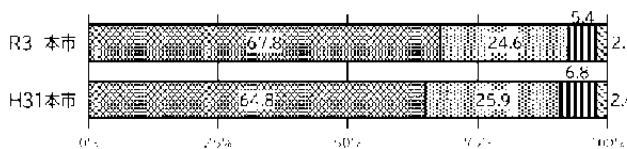


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

質問事項 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

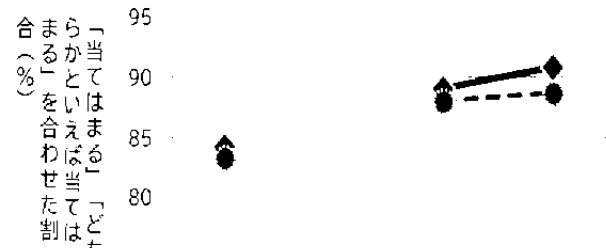
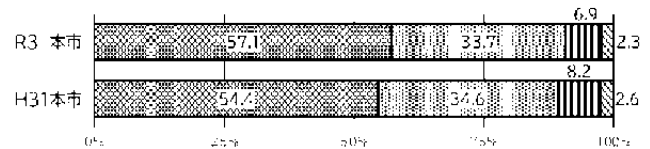
☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



	H29	H30	H31	R3
●●北九州市	87.8		90.7	92.4
---全国	87.9		91.2	91.8

【中学校】



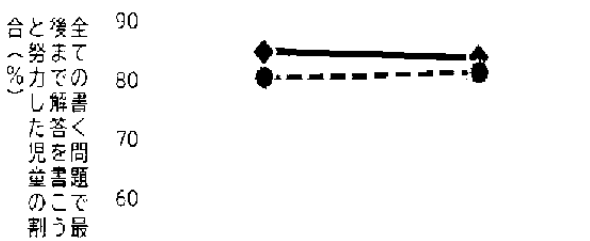
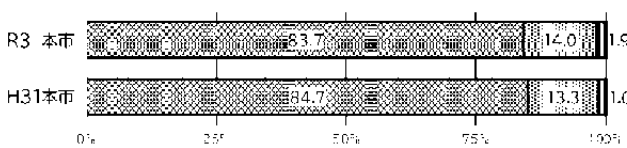
	H29	H30	H31	R3
●●北九州市	84.2		89.0	90.8
---全国	83.3		88.0	88.7

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

質問事項 「今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」

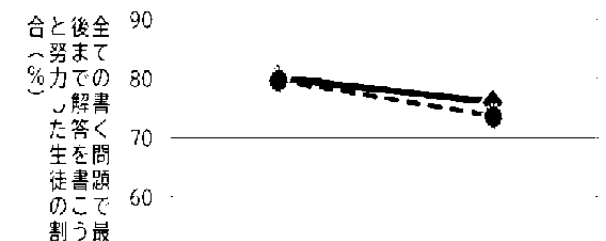
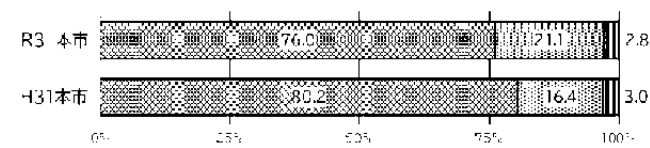
☐全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した ☐書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった ☐書く問題は全く解答しなかった

【小学校】



	H31	R3
●●北九州市	84.7	83.7
---全国	80.4	81.3

【中学校】



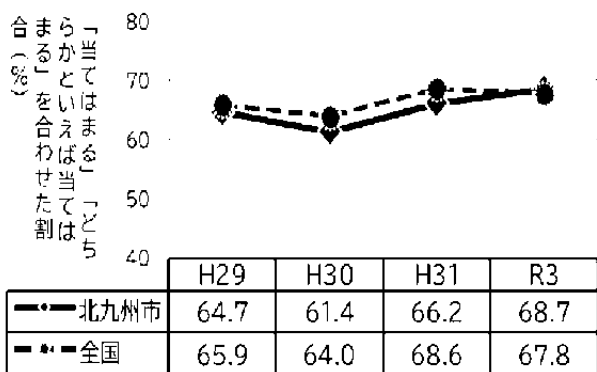
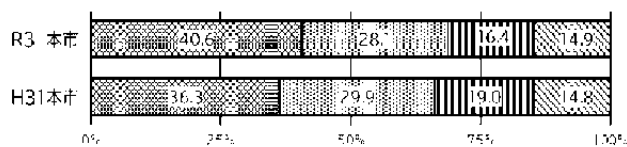
	H31	R3
●●北九州市	80.2	76.0
---全国	79.8	73.7

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

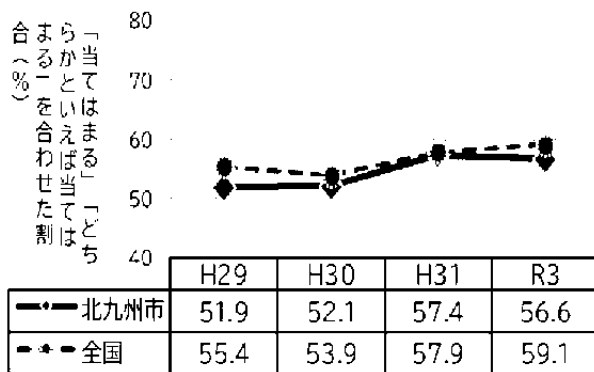
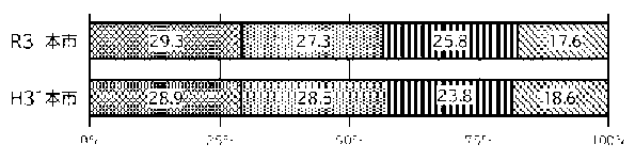
質問事項 「算数[数学]の勉強は好きですか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



【中学校】

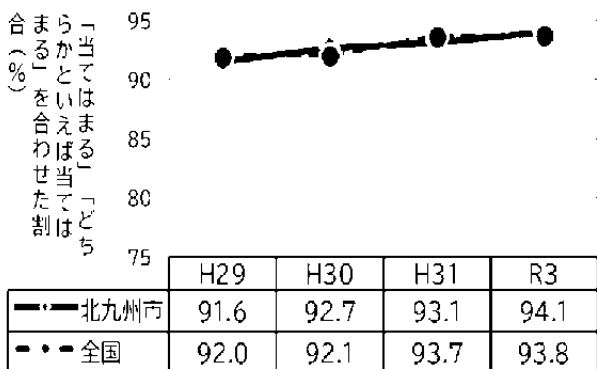
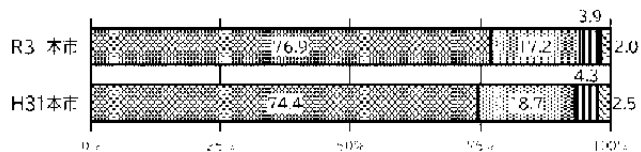


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

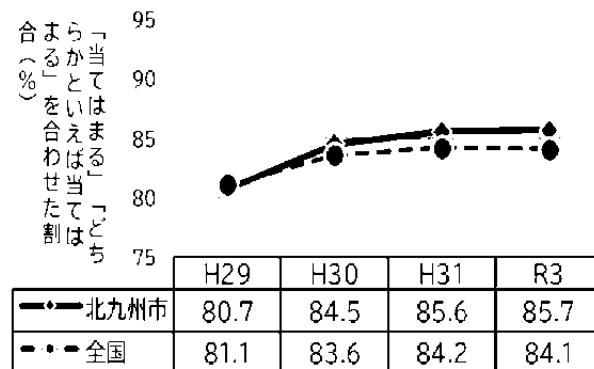
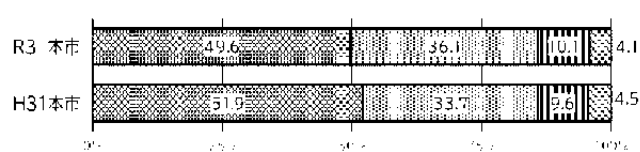
質問事項 「算数[数学]の勉強は大切だと思いますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



【中学校】

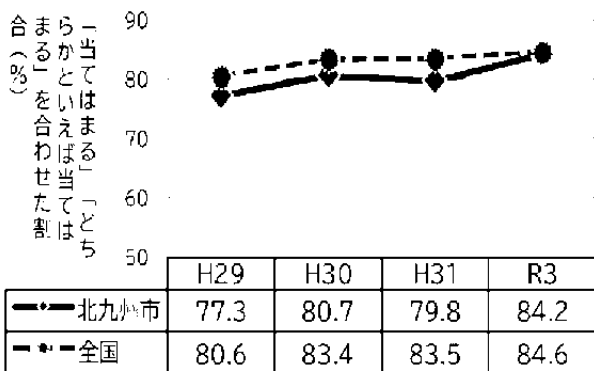
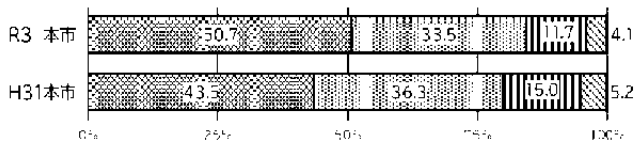


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

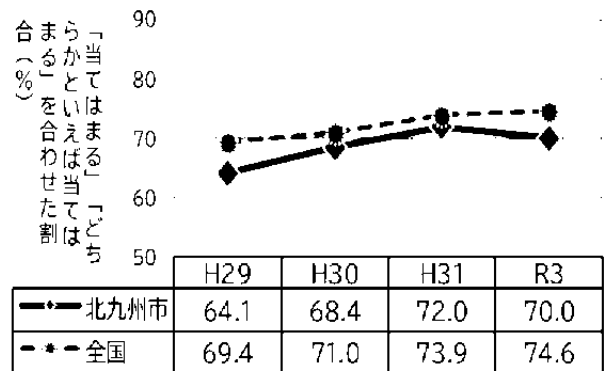
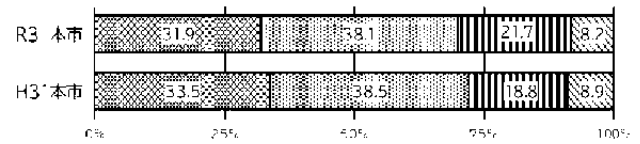
質問事項 「算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



【中学校】

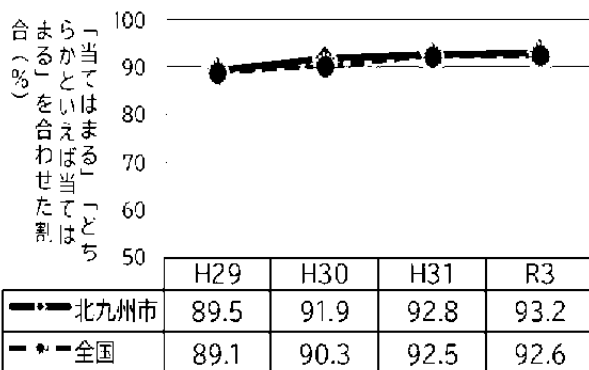
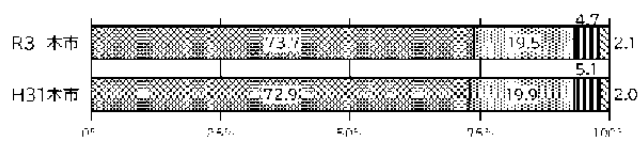


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

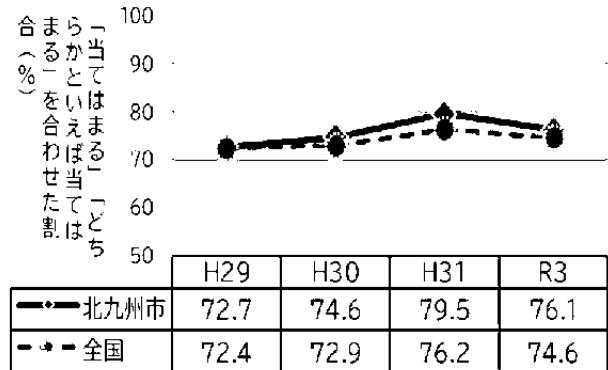
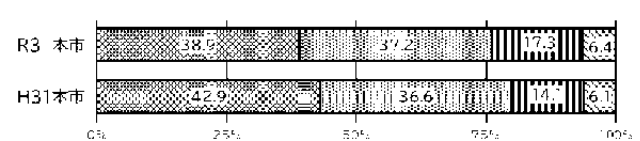
質問事項 「算数[数学]の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



【中学校】

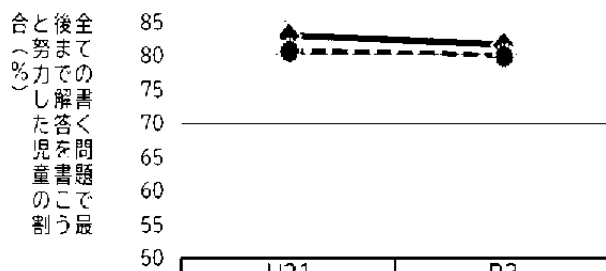
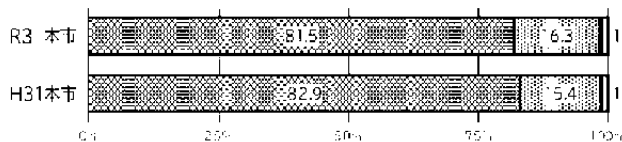


【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

質問事項 「今回の算数[数学]の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く[解答を言葉や数、式を使って説明する]問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」

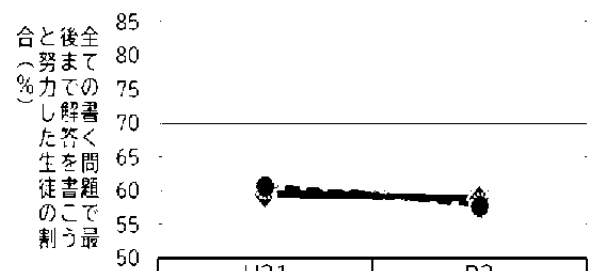
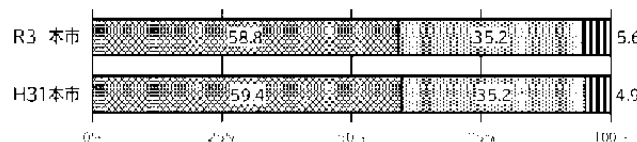
□全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した □書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった □書く問題は全く解答しなかった

【小学校】



	H31	R3
北九州市	82.9	81.5
全国	80.7	79.9

【中学校】



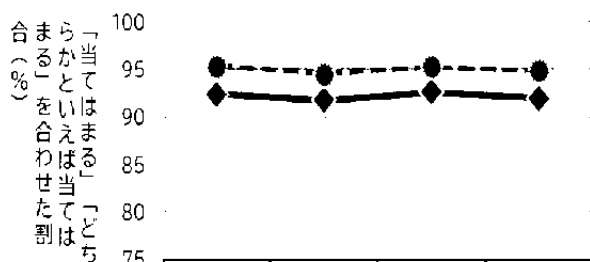
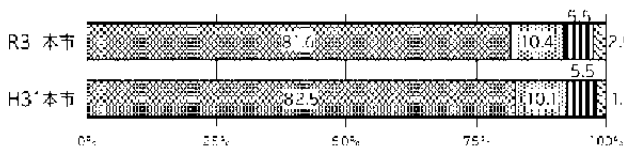
	H31	R3
北九州市	59.4	58.8
全国	60.8	57.8

【基本的生活習慣等】

質問事項 「朝食を毎日食べていますか」

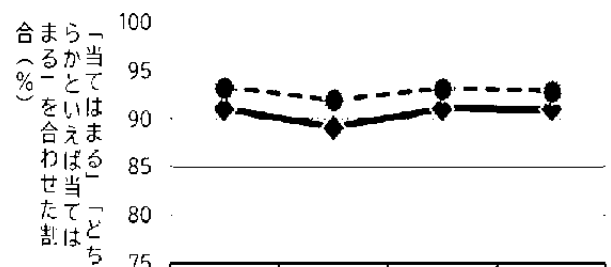
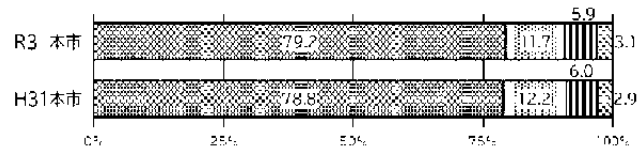
☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	92.4	91.8	92.6	92.0
全国	95.4	94.5	95.3	94.9

【中学校】



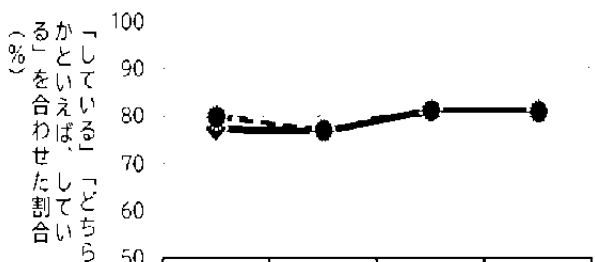
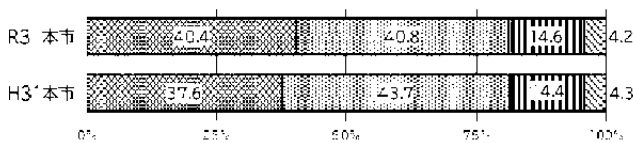
	H29	H30	H31	R3
北九州市	91.0	89.0	91.0	90.9
全国	93.2	91.9	93.1	92.8

【基本的生活習慣等】

質問事項 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」

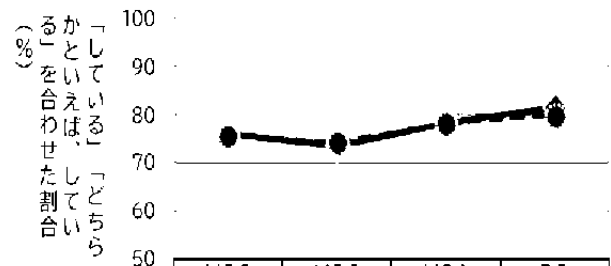
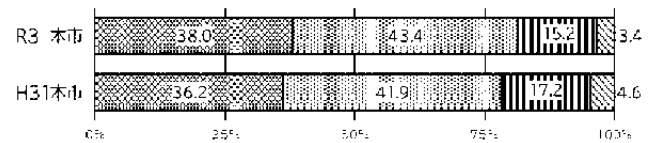
☐している ☐どちらかといえば、している ☐あまりしていない ☐全くしていない

【小学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	77.3	76.6	81.3	81.2
全国	79.8	77.0	81.4	81.2

【中学校】



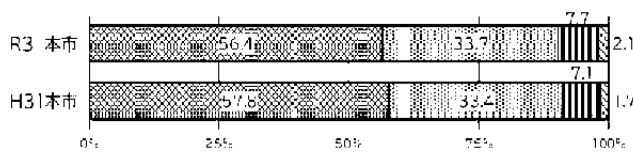
	H29	H30	H31	R3
北九州市	75.9	73.5	78.1	81.4
全国	75.6	74.2	78.0	79.8

【基本的生活習慣等】

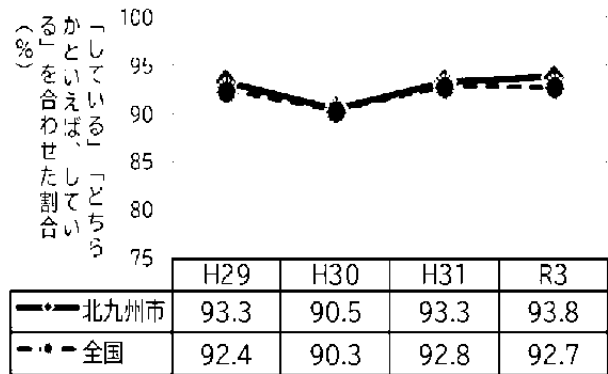
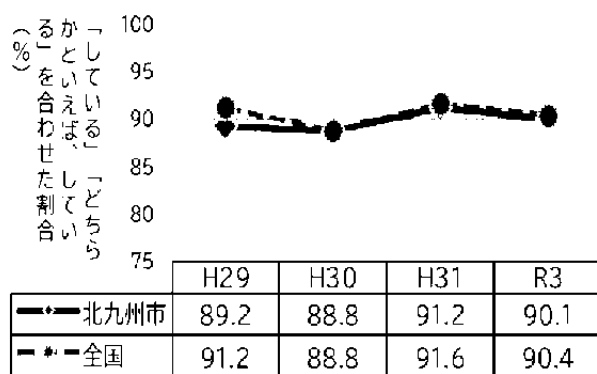
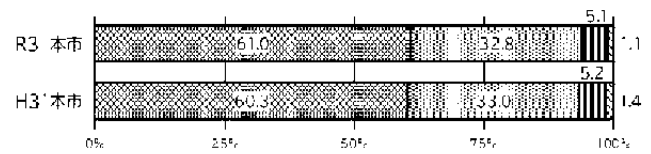
質問事項 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」

☑している ☐どちらかといえば、している ☐あまりしていない ☐全くしていない

【小学校】



【中学校】

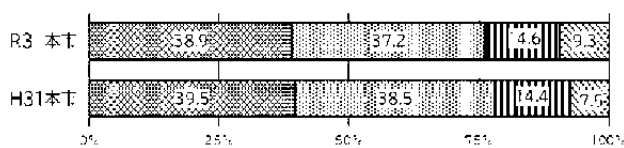


【挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等】

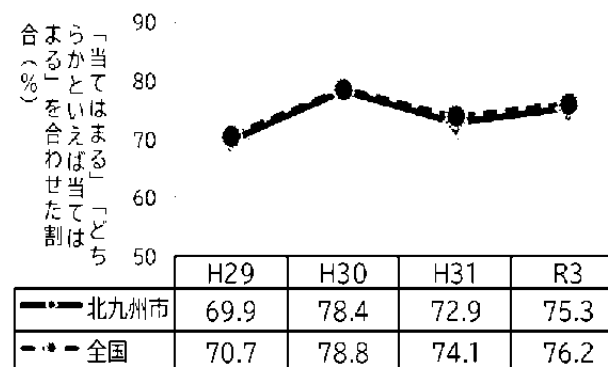
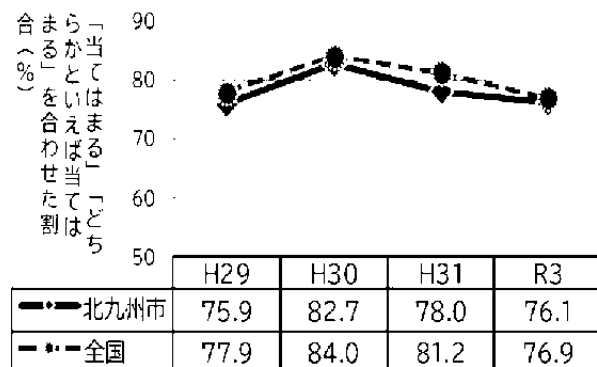
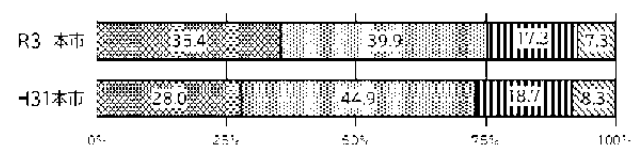
質問事項 「自分には、よいところがありますか」

☑当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



【中学校】

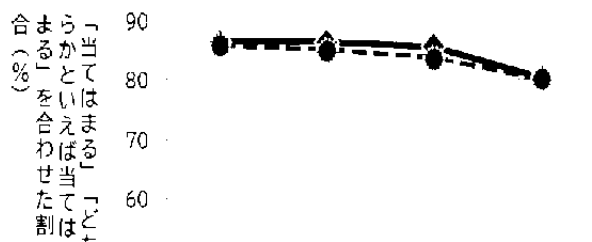
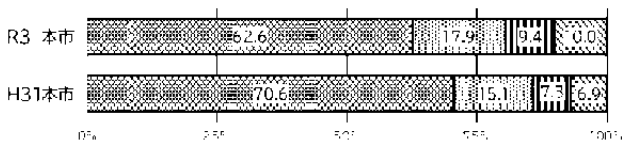


【挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等】

質問事項 「将来の夢や目標を持っていますか」

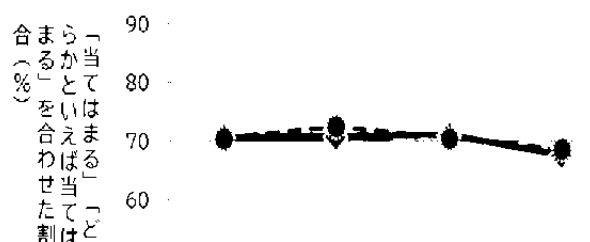
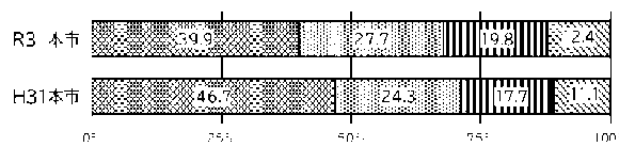
☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	86.5	86.5	85.7	80.5
全国	85.9	85.1	83.8	80.3

【中学校】



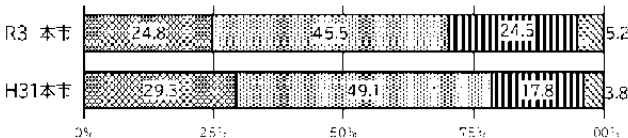
	H29	H30	H31	R3
北九州市	70.6	70.8	71.0	67.6
全国	70.5	72.4	70.5	68.6

【挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等】

質問事項 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」

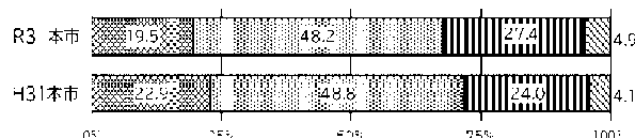
☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	75.1	-	78.4	70.3
全国	77.4	-	79.0	70.9

【中学校】



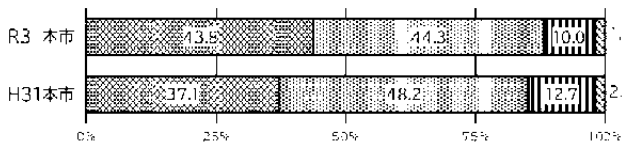
	H29	H30	H31	R3
北九州市	71.4	-	71.7	67.7
全国	71.0	-	70.3	65.9

【挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等】

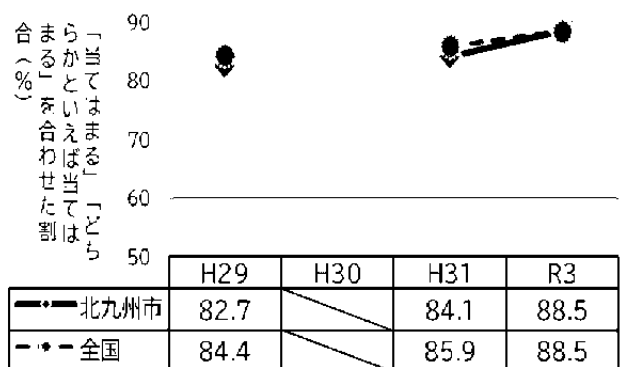
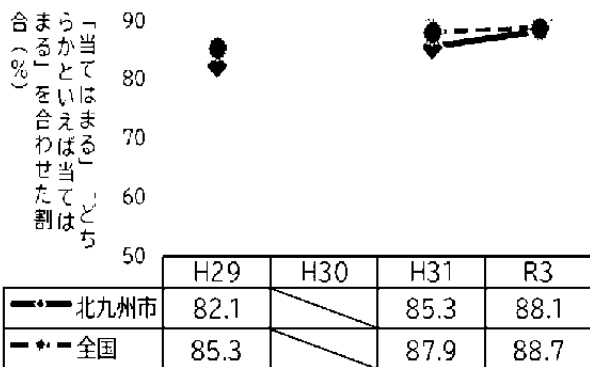
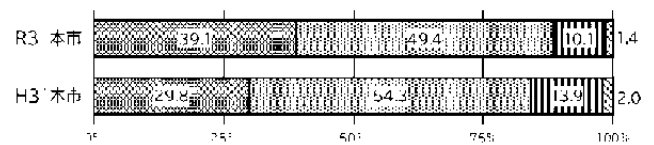
質問事項 「人が困っているときは、進んで助けていますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



【中学校】

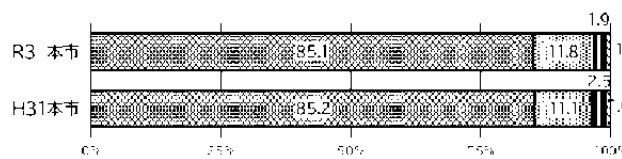


【挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等】

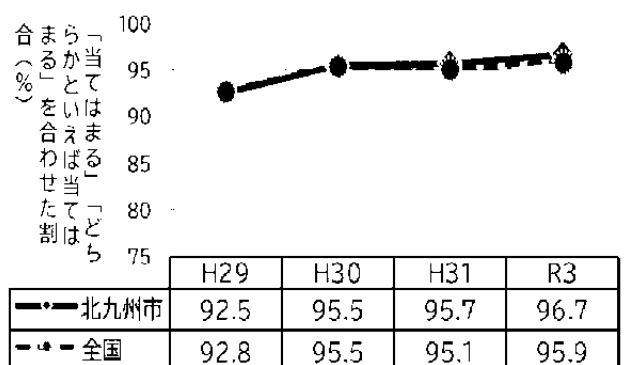
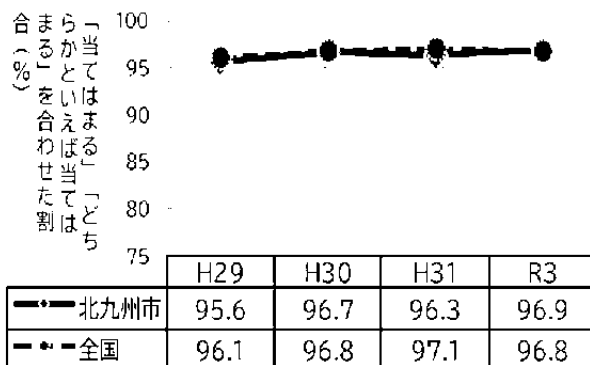
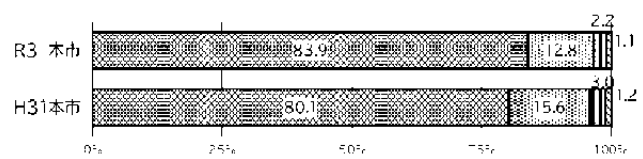
質問事項 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



【中学校】

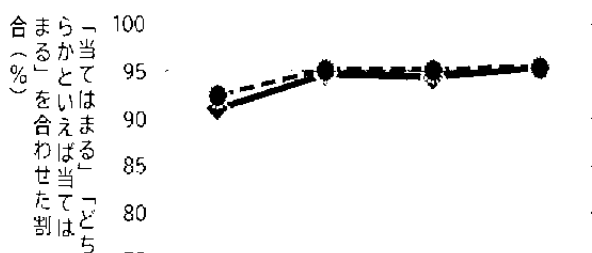
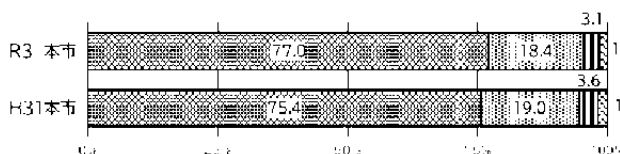


【挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等】

質問事項 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

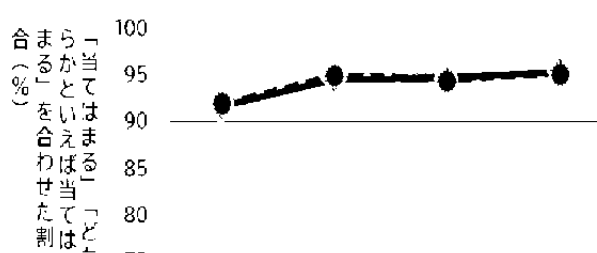
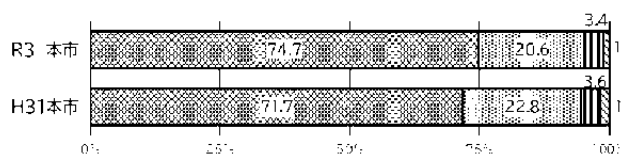
☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	91.1	94.7	94.4	95.4
全国	92.5	95.2	95.2	95.5

【中学校】



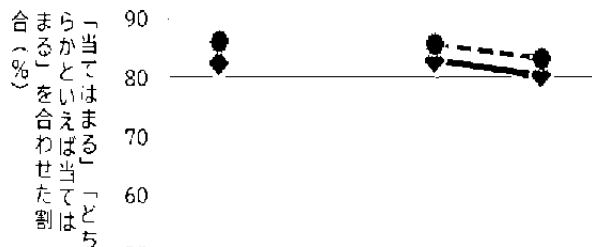
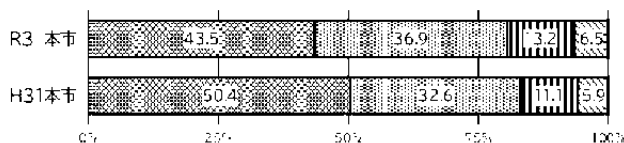
	H29	H30	H31	R3
北九州市	91.5	94.4	94.5	95.3
全国	91.9	94.9	94.3	95.0

【挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等】

質問事項 「学校に行くのは楽しいと思いますか」

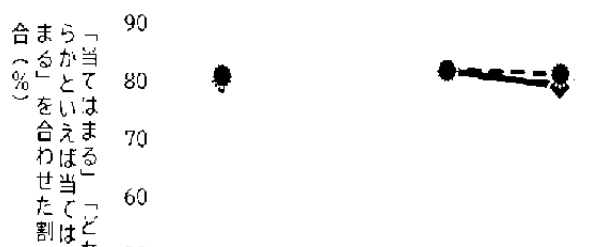
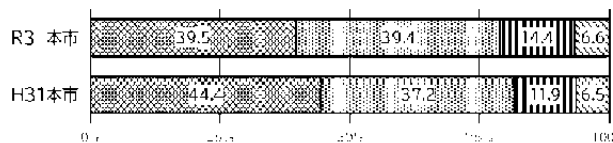
☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	82.4		83.0	80.4
全国	86.3		85.8	83.4

【中学校】



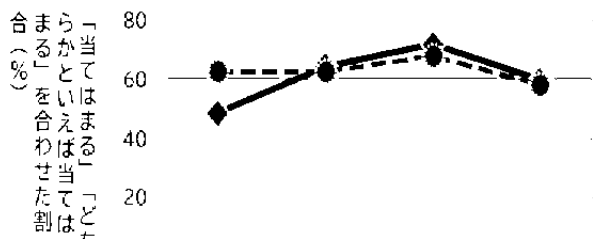
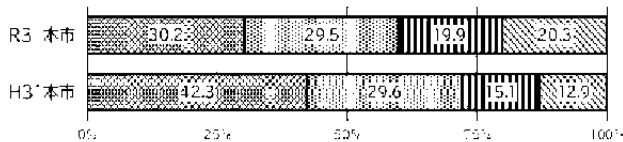
	H29	H30	H31	R3
北九州市	79.8		81.6	78.9
全国	80.9		81.9	81.1

【地域や社会に関わる活動の状況等】

質問事項 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」

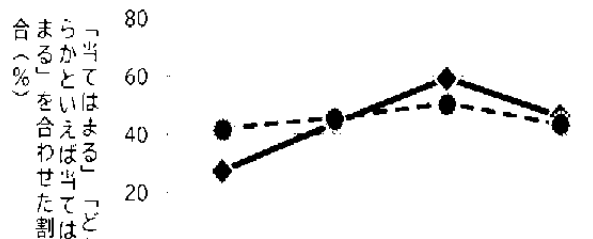
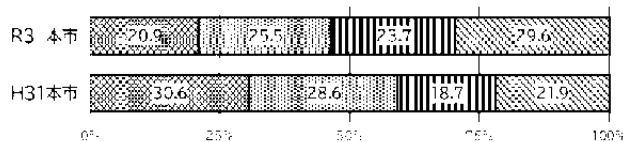
☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	48.5	64.4	71.9	59.7
全国	62.6	62.7	68.0	58.1

【中学校】



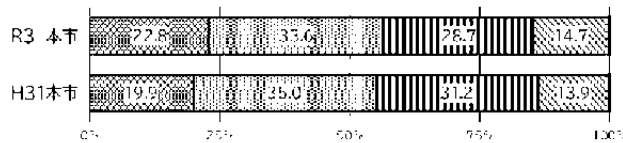
	H29	H30	H31	R3
北九州市	27.6	44.1	59.2	46.4
全国	42.1	45.6	50.6	43.7

【地域や社会に関わる活動の状況等】

質問事項 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」

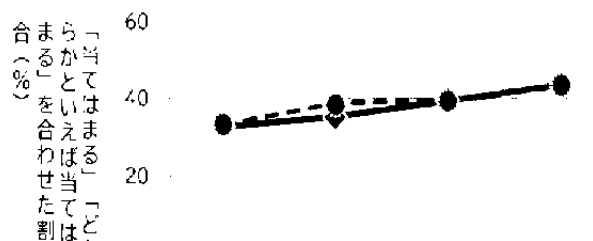
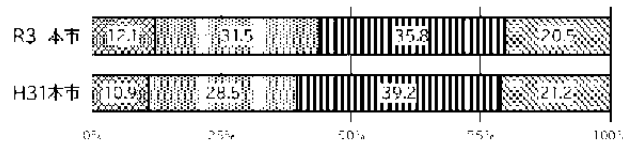
☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	38.5	52.8	54.9	56.4
全国	42.3	49.9	54.5	52.4

【中学校】



	H29	H30	H31	R3
北九州市	32.7	35.3	39.4	43.6
全国	33.4	38.7	39.4	43.8

今年度、新たに加わった質問事項の結果の概況

児童生徒質問紙のうち、前回(平成31年度)なかった質問事項について、今年度、肯定的な回答をした生徒の割合を数値化して示しています。(前回小学校、中学校どちらか一方のみにあった質問事項も含まれます。)

【今年度からの新たな質問事項のうち、小中学校ともに全国平均を上回ったもの】

- あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか ※週1回以上
- 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を勉強のために使っていますか ※週1回以上
- 授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものをつくりだしたりする活動を行っていましたか
- 国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか
- 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか
- 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように[自分の考えが伝わるように根拠を明確にして]書いたり表現を工夫して書いたりしていますか
- 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり[内容を解釈して]、自分の考えを広げたりしていますか
- 算数[数学]の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

※上記の項目については、それぞれの質問項目を太枠で囲んでいます。

		肯定的な回答をした子どもの割合	
		小学校	中学校
カテゴリ	質問事項	R34年度	R34年度
ICT機器	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	64.7	64.6
	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます)をしますか ※2時間以上	52.7	54.3
授業	自分でやると決めたことは、やり遂げるようになっている	83.6	84.9
	自分の思っていることや感じていることをちゃんと言葉で表すことができますか	67.0	73.5
	自分と違う意見について考えるのは楽しいですか	67.8	73.3
	友達と協力するのは楽しいですか	93.8	93.4
学習	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますが(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます) ※2時間以上	26.3	46.6
	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含みます) ※学校の勉強より進んだ内容や難しい内容、学校の勉強でよく分からなかった内容を教わっている生徒の割合	32.8	53.9
	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除きます) <26冊以上の生徒の割合>	69.7	62.3
ICT機器	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか ※週1回以上	40.2	38.9
	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	93.8	92.1
	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか ※1時間以上	20.7	20.3

今年度、新たに加わった質問事項の結果の概況

カテゴリ	質問事項	肯定的な回答をした子どもの割合←	
		小学校	中学校
授業内容・学びの観点からの	学校の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	83.6	81.0
	授業では、各教科などで学んだことを牛かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか	69.5	62.7
	授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	81.4	75.7
	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができていますか	95.2	96.5
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	78.1	73.2
道徳	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか	81.5	83.4
学習に対する態度・関心や授業の理解度など	国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか	83.1	83.9
	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか	66.8	62.4
	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように「自分の考えが伝わるように根拠を明確にして」書いたり表現を工夫して書いたりしていますか	74.6	76.4
	国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えを持ったり「内容を解釈して」、自分の考えを広げたりしていますか	77.8	78.5
	算数[数学]の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	74.8	48.3
	算数[数学]の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	83.7	74.6
	算数[数学]の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	88.0	81.2
	算数[数学]の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	92.9	88.6
	英語の勉強は好きですか	68.2	56.5
	5年生までに「1, 2年生のときに」受けた英語の授業では、英語で「英語で話したり聞いたりして」自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか	78.0	67.7
	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)	42.8	34.3
新型コロナウイルス感染症との	【臨時休校期間(R2.3~5)】勉強について不安を感じましたか	55.5	61.8
	【臨時休校期間(R2.3~5)】計画的に学習を続けることができましたか	61.0	31.9
	【臨時休校期間(R2.3~5)】規則正しい生活を送っていましたか	58.3	43.7
	【臨時休校期間(R2.3~5)】学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか。当てはまるものをすべて選んでください※回答数上位の3つ(家族に聞いた、自分で調べた、友達に聞いた)の合計	168.8	146.7

児童生徒質問紙の「挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等」と「学習に対する興味・関心」のカテゴリのうち、各教科の「平均正答率」との相関があったものを抽出してデータを示している。

これらの質問事項は、子どもたちの学びを支える、いわゆる「学びに向かう力」とも表すことができるものである。各教科の数値で表される正答率はあくまでも学力の一側面に過ぎない。

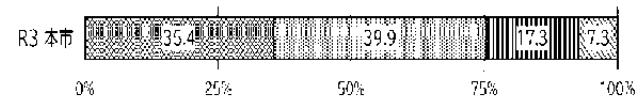
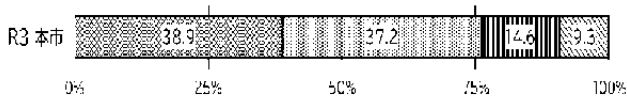
したがって、上記のような質問事項の回答状況と各教科の正答率の関係等を分析し、子どもの主体性や協調性、やり抜く力や自己肯定感等といった「学びに向かう力」の点からも学力を捉え、授業改善や向上策につなげていくことが重要と考える。

質問事項 「自分には、よいところがありますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

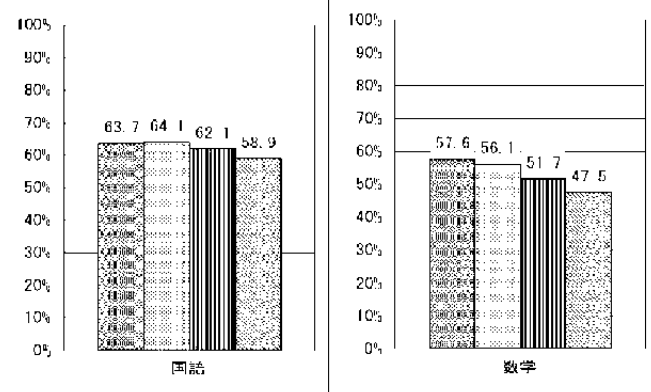
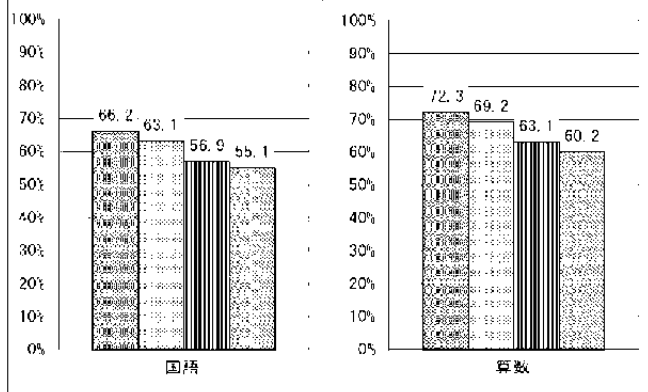
【小学校】

【中学校】



国語・算数における選択肢別の正答率

国語・数学における選択肢別の正答率

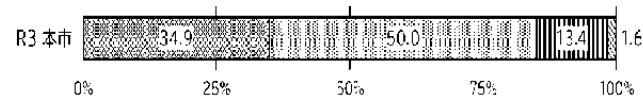
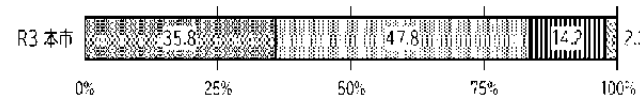


質問事項 「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

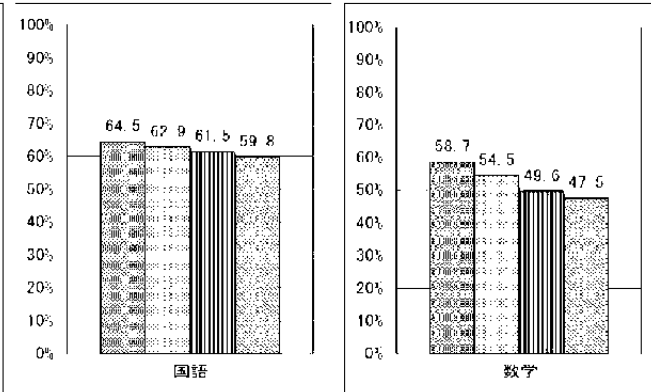
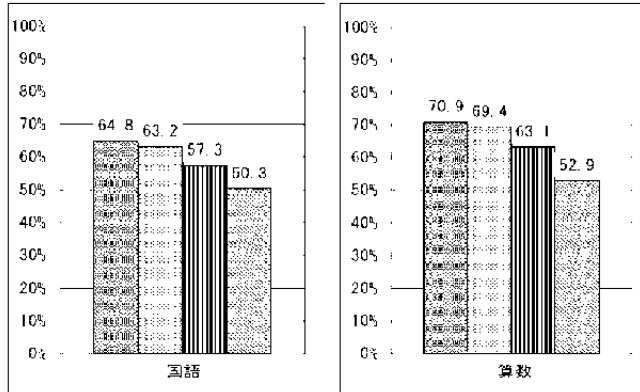
【小学校】

【中学校】



国語・算数における選択肢別の正答率

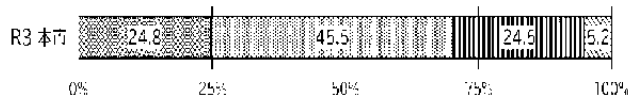
国語・数学における選択肢別の正答率



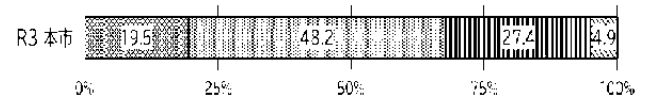
質問事項 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」

☑当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

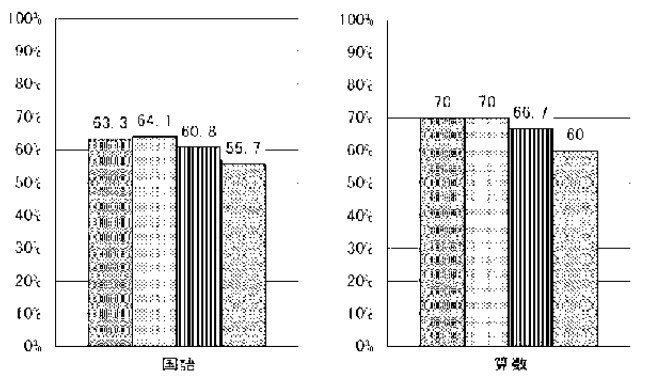
【小学校】



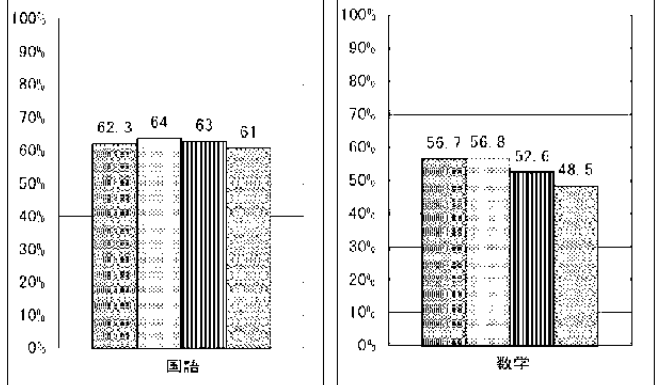
【中学校】



国語・算数における選択肢別の正答率



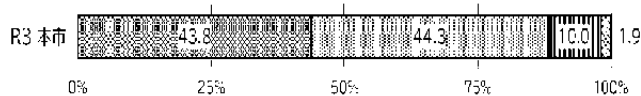
国語・数学における選択肢別の正答率



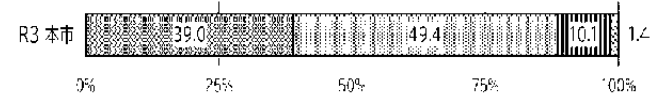
質問事項 「人が困っているときは、進んで助けていますか」

☑当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

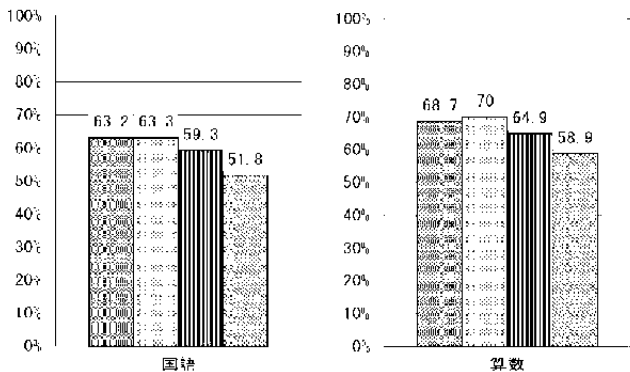
【小学校】



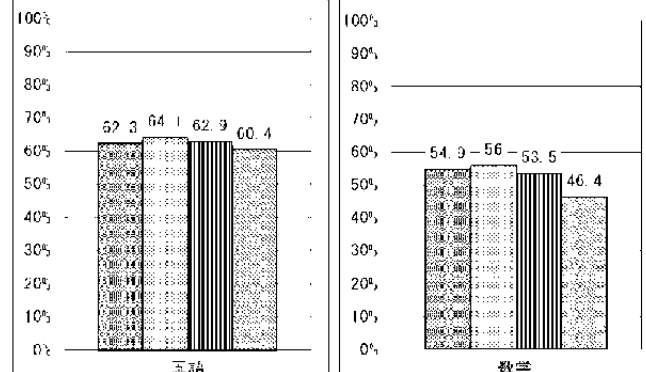
【中学校】



国語・算数における選択肢別の正答率



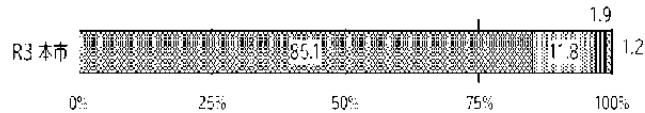
国語・数学における選択肢別の正答率



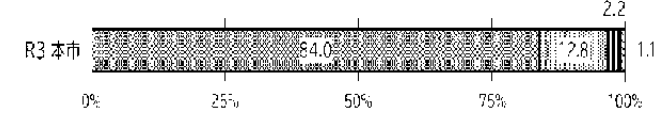
質問事項 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

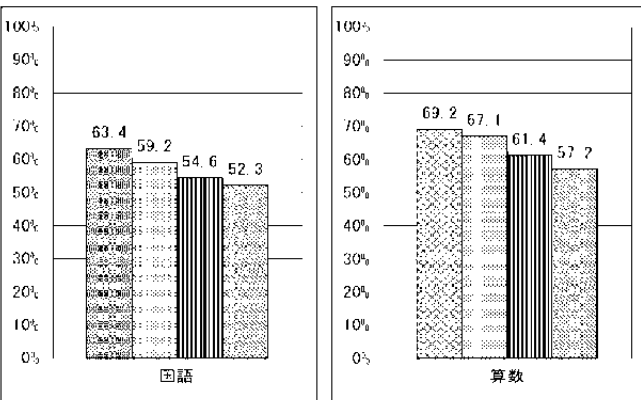
【小学校】



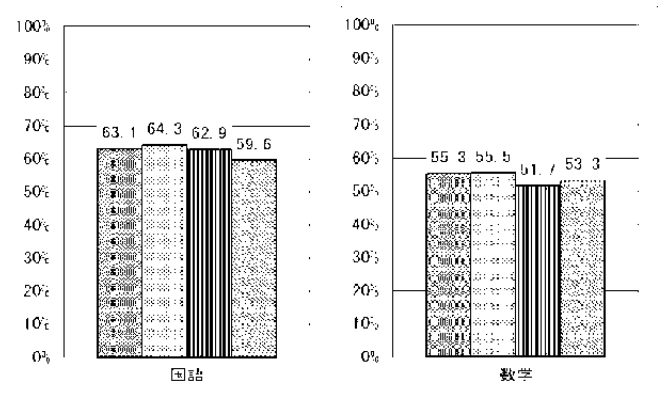
【中学校】



国語・算数における選択肢別の正答率



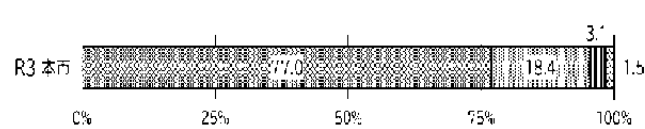
国語・数学における選択肢別の正答率



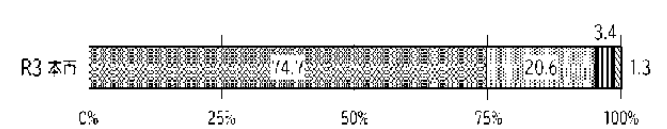
質問事項 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

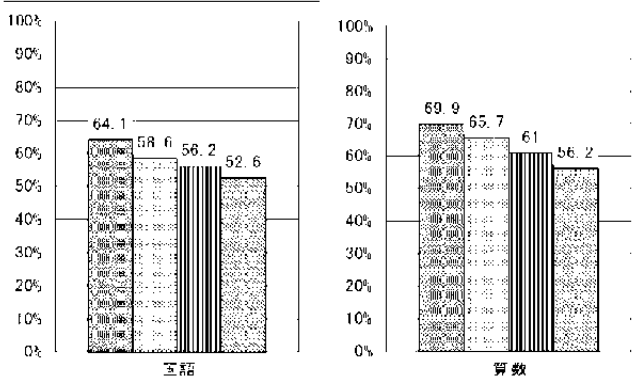
【小学校】



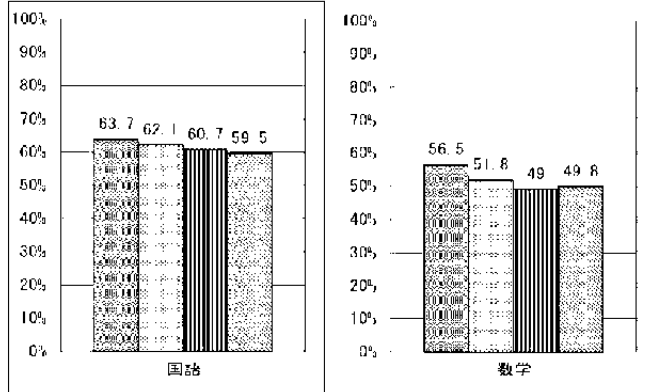
【中学校】



国語・算数における選択肢別の正答率



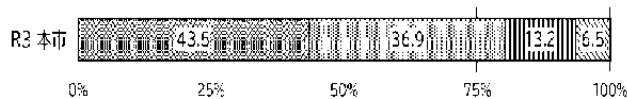
国語・数学における選択肢別の正答率



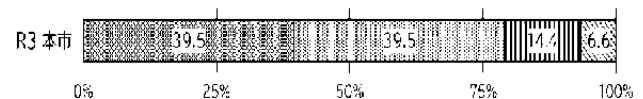
質問事項 「学校に行くのは楽しいと思いますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

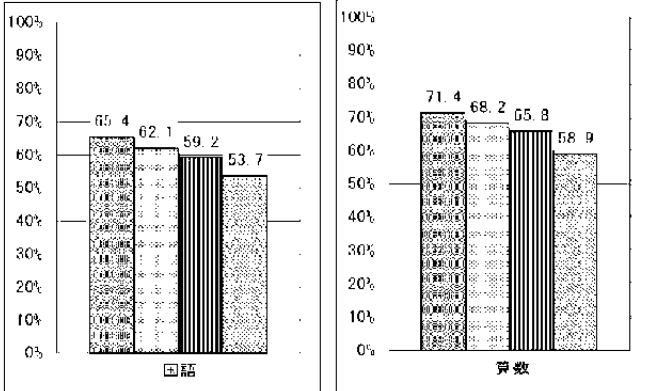
【小学校】



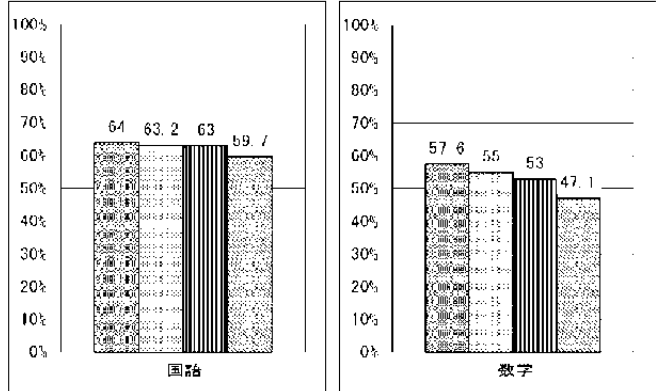
【中学校】



国語・算数における選択肢別の正答率



国語・数学における選択肢別の正答率



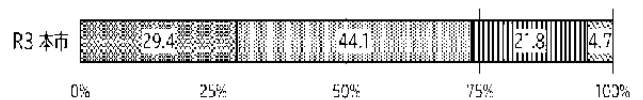
質問事項 「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」

☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

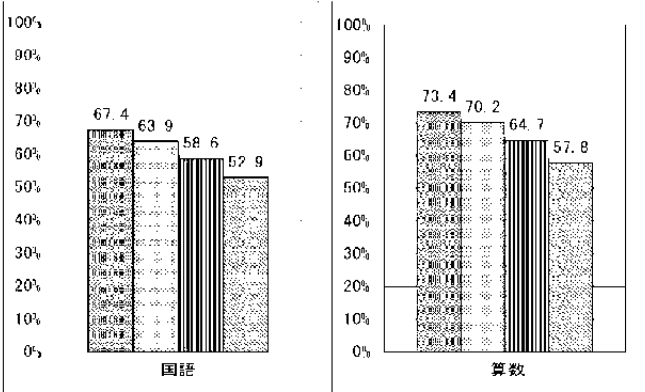
【小学校】



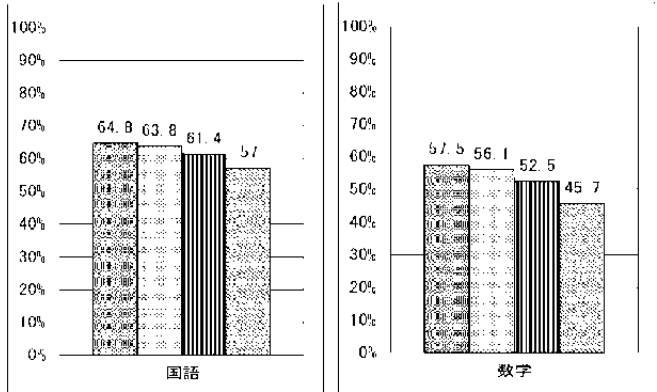
【中学校】



国語・算数における選択肢別の正答率



国語・数学における選択肢別の正答率

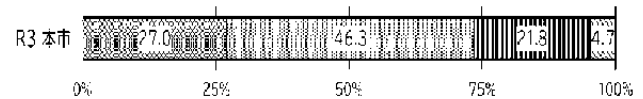
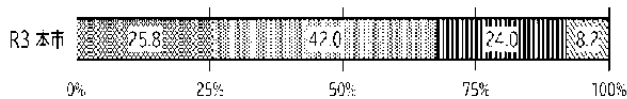


質問事項 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」

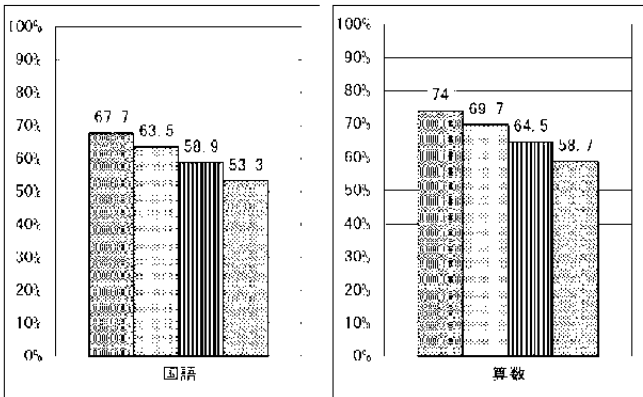
☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】

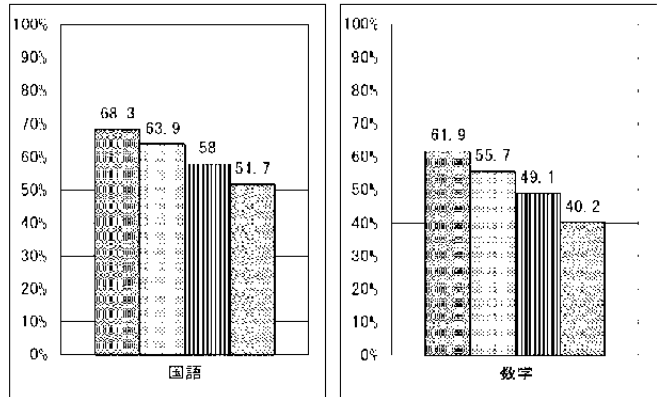
【中学校】



国語・算数における選択肢別の正答率



国語・数学における選択肢別の正答率

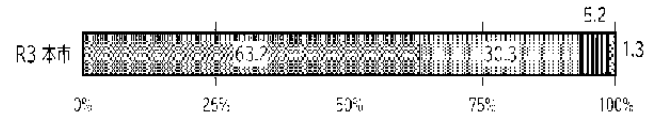
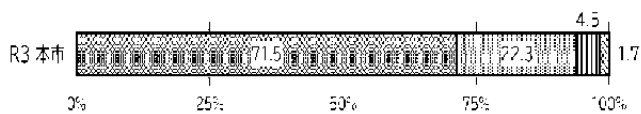


質問事項 「友達と協力するのは楽しいと思いますか」

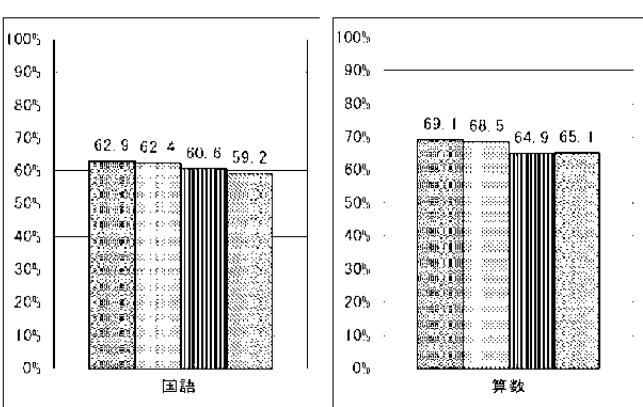
☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】

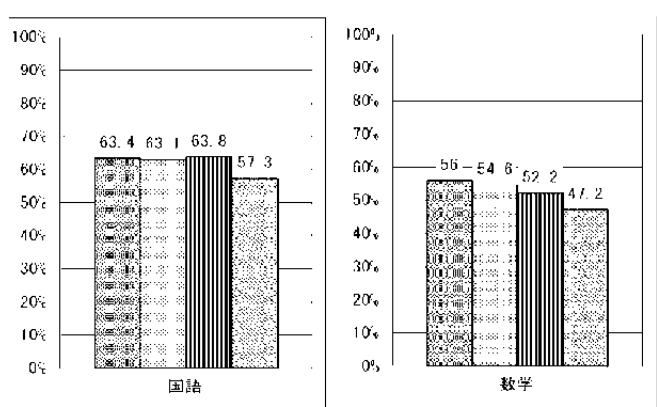
【中学校】



国語・算数における選択肢別の正答率



国語・数学における選択肢別の正答率

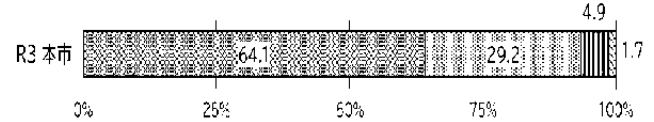
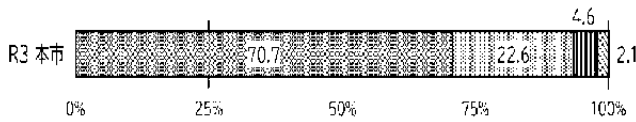


質問事項 「国語の勉強は大切だと思いますか」

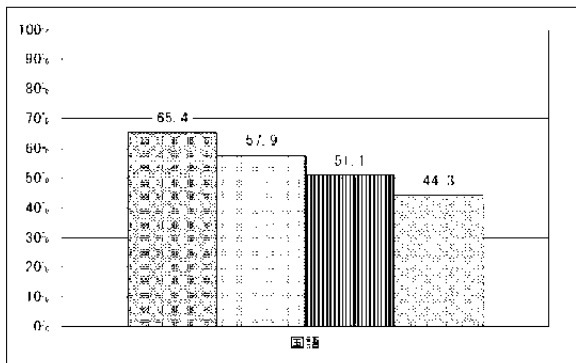
☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】

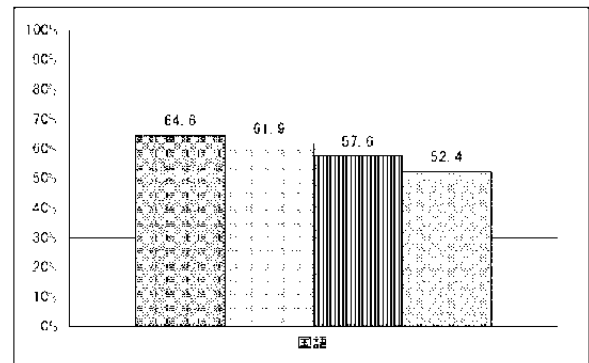
【中学校】



国語の選択肢別正答率



国語の選択肢別正答率

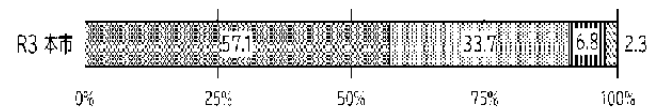
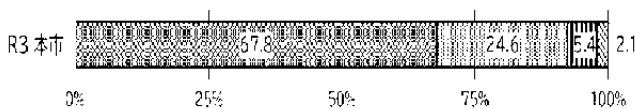


質問事項 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

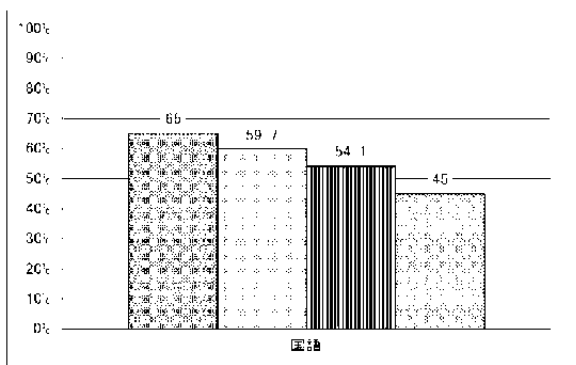
☐当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまる ☐どちらかといえば、当てはまらない ☐当てはまらない

【小学校】

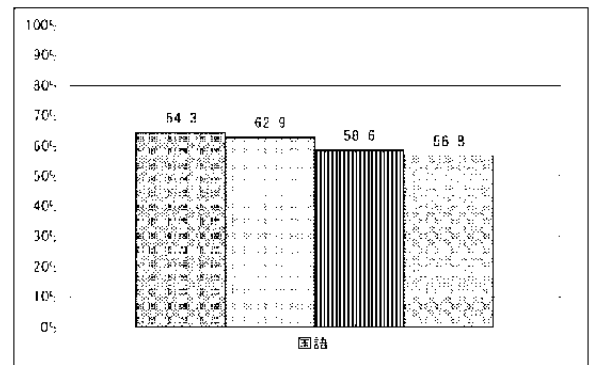
【中学校】



国語の選択肢別正答率



国語の選択肢別正答率

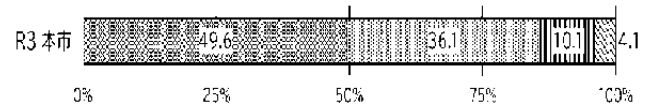
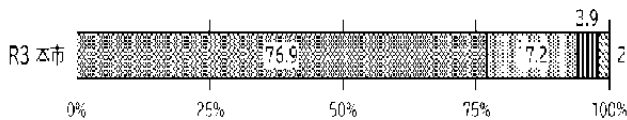


質問事項 「算数[数学]の勉強は大切だと思いますか」

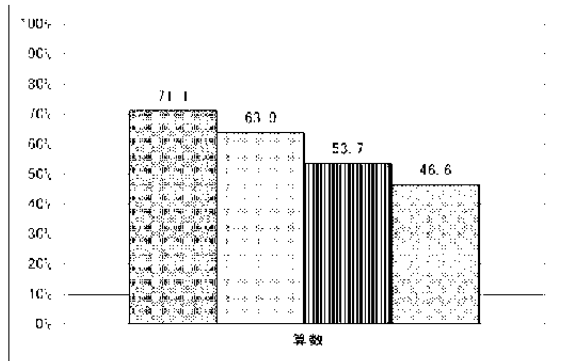
☑ 当てはまる ☑ どちらかといえば、当てはまる ☑ どちらかといえば、当てはまらない ☑ 当てはまらない

【小学校】

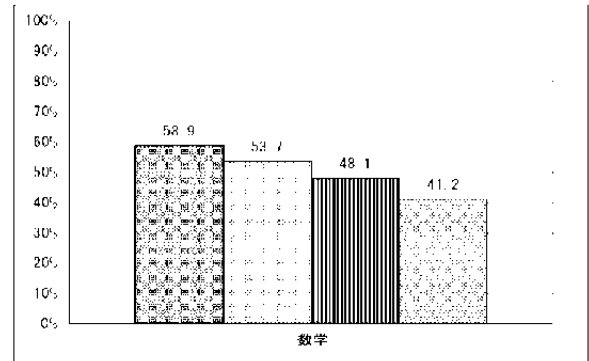
【中学校】



算数の選択肢別正答率



数学の選択肢別正答率

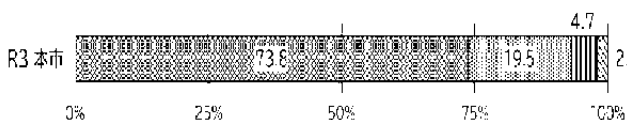


質問事項 「算数[数学]の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

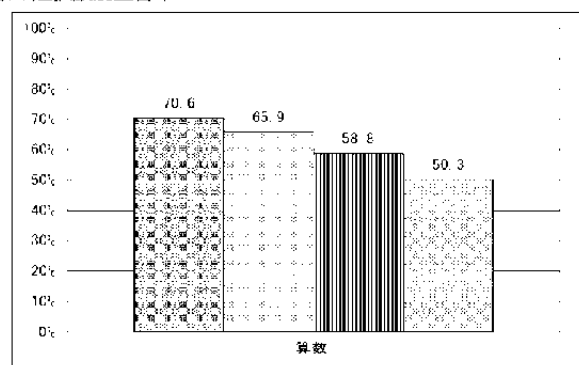
☑ 当てはまる ☑ どちらかといえば、当てはまる ☑ どちらかといえば、当てはまらない ☑ 当てはまらない

【小学校】

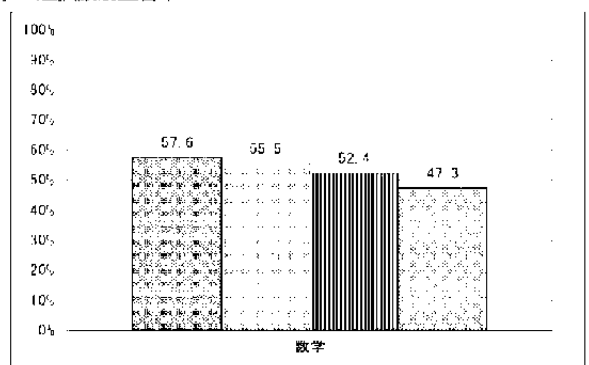
【中学校】



算数の選択肢別正答率



数学の選択肢別正答率



質問紙において肯定的な回答をした子どもほど各教科の正答率も高かった質問事項は、以下のとおりである。

＜小学校・中学校ともに各教科の正答率と相関のある質問事項＞

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」
- 「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」
- 「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」
- 「自分には、よいところがあると思いますか」
- 「友達と協力するのは楽しいと思いますか」

＜小学校のみに相関のある質問事項＞

- 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

【考察1】

＜小学校＞
質問紙の肯定的な回答と各教科の正答率との相関 10項目

＜中学校＞
質問紙の肯定的な回答と各教科の正答率との相関 7項目（すべてが小学校と共通）

- ・ 上記の結果、今後も小学校と中学校の接続強化や連携を一層推進していくことが重要であると言える。

【接続強化や連携推進の例】

- ・ 互いの学校の子どもや教師、学校教育目標や特色等の共通理解
- ・ 授業づくり5つのポイントやその重点を押さえた普段からの授業づくりの共通実践
- ・ 校種を越えた交流、共通の活動や取組等での連携
- ・ 共通認識による温かい教育風土の醸成 など

【考察2】

＜小学校・中学校ともに各教科の正答率と相関のある質問事項①＞

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」
- 「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」
- 「自分には、よいところがあると思いますか」

- ・ 学習や生活において、めあてや目標を自ら考えさせたりそれらを達成できるよう教師が支援したりすることで、成就感や達成感を味わわせ自己実現を図ることの重要性を示唆している。

【教師の支援例】

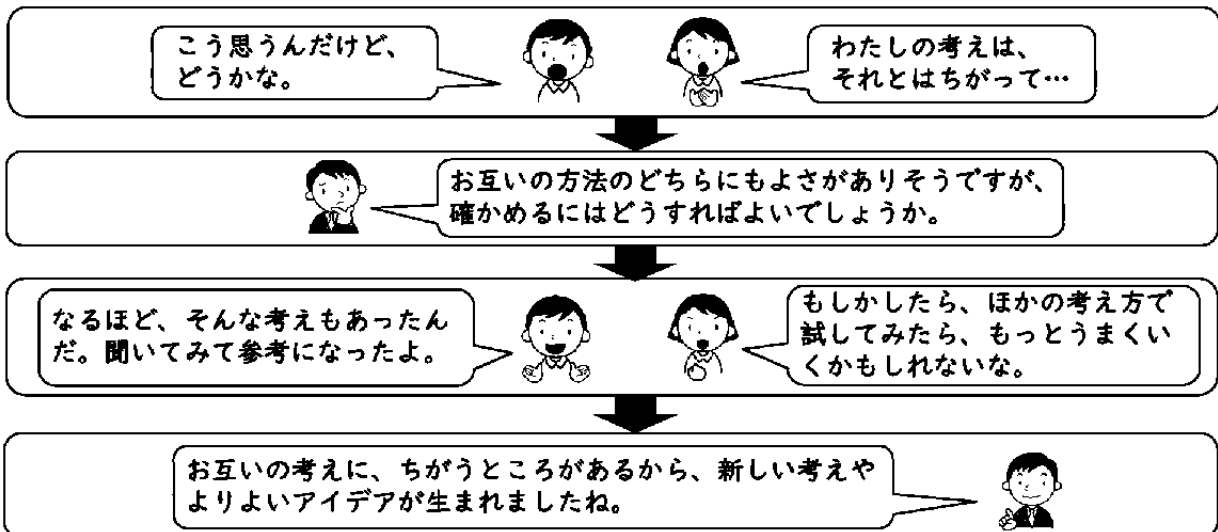
- ・ 学習や生活、学校行事等においてめあてをもたせ、それを自己評価させる
- ・ 子どもが熱中する経験を積ませるよう学級活動やその他の特別活動を工夫する
- ・ 結果より努力の過程を認め、前向きに励ましたり価値付けたりする など

【考察3】

<小学校・中学校ともに各教科の正答率と相関のある質問事項②>

「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」
「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」

・上記の質問事項に関しては正答率と相関がみられたが、小・中学校ともに否定的な回答も一定数見受けられる。意見や考えの相違が互いの批判ではなく、思考の深まりや次の活動意欲につながるよう、話し合う活動の質を高めることが望まれる。(下図参照)



☆教師は子どもの活動をよく見取って、思考を促す発問をしたり、ねらいに向かう子どものよさを取り上げ称賛・価値付けしたりすることが大切です。

※コロナ禍においては、話し合いに制限があるため、考えを可視化したり共有したりするタブレットや発表ボード等の活用が望まれます。

【考察4】

<質問事項から見る小学校・中学校に共通した傾向>

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」	小学校95.4%	中学校95.3%
「友達と協力するのは楽しいと思いますか」	小学校93.8%	中学校93.4%
「人が困っているときは、進んで助けていますか」	小学校88.1%	中学校88.5%
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」	小学校96.9%	中学校96.7%

・小学校・中学校ともに、肯定的な回答の割合が高い。

本年度の質問紙の結果から、本市の子どもたちが「他者と関わること」や「協力すること」などに前向きであるといった傾向が見られる。したがって、友達と関わる楽しさを味わうことや協働的な学びの一層の充実を通して、質問紙と各教科の正答率に相関が見られる「学校に行くのは楽しい」や「自分にはよいところがある」という質問事項の肯定的な回答率がさらに高められると考えられる。



令和3年度 全国学力・学習状況調査 報告書

発行 北九州市教育委員会
次世代教育推進部 授業づくり支援企画課
〒806-0044
北九州市八幡西区相生町20番1号(教育センター内)
TEL 093-641-4666
FAX 093-641-1833